

# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	救急医療対策事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145301000 - 001				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	衛生費		<b>事業所管課</b>	感染対策局あかし保健所保健総務課				
	<b>項</b>	保健衛生費			<b>連絡先</b>	078(918)-5414			
	<b>目</b>	保健衛生総務費				<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明
	<b>事業</b>	救急医療対策事業					<b>根拠法令・要綱等</b> 救急医療対策事業実施要綱(厚生労働省)		
<b>施策分野</b>		<b>実施方法</b>							
<b>個別計画</b>				委託			○	指定管理	

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	休日・夜間における軽症・重症の救急患者の初期救急および二次救急の診療体制を確保する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	受診者数	①在宅当番医制 ②小児二次救急(東播地域) ③病院群輪番制の年間の受診者数	令和2年度	人	①4,000 ②5,400 ③4,000

<b>事業内容</b>	①休日急病診療業務(在宅当番医制)
	②東播磨臨海地域小児二次救急医療事業
	③病院群輪番制病院運営事業
	④広域災害・救急医療情報システム事業

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○								○						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	71,463	4,244	75,707	1,395	0	0	74,312	正規	0.40	ｱｶｼ	0.00
01当初予算	75,022	2,592	77,614	1,540	0	0	76,074	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	72,909	2,592	75,501	1,395	0	0	74,106	任期付	0.06	合計	0.46
02当初予算	74,116	3,402	77,518	1,527	0	0	75,991				

<b>令和元年度決算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>	<b>令和2年度当初予算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>
	役務費	医師賠償責任保険	333		役務費	医師賠償責任保険	400
	委託料	休日急病診療業務	6,781		委託料	休日急病診療業務	7,615
	負担金補助及び交付金	小児二次救急医療事業負担金・病院群輪番制運営事業補助金	65,795		負担金補助及び交付金	小児二次救急医療事業負担金・病院群輪番制運営事業補助金	66,101
	<b>合計</b>		<b>72,909</b>		<b>合計</b>		<b>74,116</b>

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-001	事務事業名	救急医療対策事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	受診者数	①在宅当番医制 ②小児二次救急(東播地域) ③病院群輪番制の年間の受診者数			①3,921 ②5,089 ③3,756	①5,443 ②5,163 ③3,803	①4,000 ②5,400 ③4,000
		令和2年度	人	①4,000 ②5,400 ③4,000			
<b>指標で表せない成果</b>							
受診者数の増減に関わらず、一般医療機関が診療していない時間帯の診療を確保する意義は大きい。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
明石市医師会等関係機関と連携を図り、現行の救急医療体制を維持していく。						

## 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	公衆浴場助成事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145301000 - 002				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	衛生費		<b>事業所管課</b>	感染対策局あかし保健所保健総務課				
	<b>項</b>	保健衛生費			<b>連絡先</b>	(078)918-5414			
	<b>目</b>	保健衛生総務費				<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 53 年度
	<b>事業</b>	公衆浴場助成事業							
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律、明石市補助金等交付規則、明石市公衆浴場設備改善資金利子補給補助金交付要綱					
	1-5 地域医療の充実			<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	○	その他	
<b>個別計画</b>			委託		指定管理				

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	地域住民の健康増進事業等を実施する公衆浴場への支援を行うことにより、地域住民の公衆衛生並びに住民の福祉の向上を図る。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	公衆浴場設備改善資金の利子補給件数	設備改善資金の利子補給を受けている市内の公衆浴場営業者数	令和元年度	件	1

<b>事業内容</b>	①明石浴場組合が実施する明石公衆衛生向上事業補助金の交付 平成30年度実績 473,520円 令和元年度実績 600,000円 令和2年度見込 600,000円 ※平成27年度までは明石浴場組合運営事業補助金を交付、平成28年度からは明石公衆衛生向上事業補助金に切り替えている。				
	②公衆浴場設備改善資金利子補給補助金の交付 公衆浴場営業者が衛生措置指導を遵守し、設備の近代化を促進するために設備改善資金を借り入れた場合に支払った利子の一部を補助する。 平成30年度実績 なし 令和元年度実績 なし 令和2年度見込 630,000円(新規1件)				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	473	810	1,283	0	0	0	1,283	正規	0.10	ｱｶｼ	0.00
01当初予算	1,230	1,620	2,850	315	0	0	2,535	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	600	1,620	2,220	0	0	0	2,220	任期付	0.00	合計	0.10
02当初予算	1,230	810	2,040	315	0	0	1,725				

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	負担金補助及び交付金	設備改善資金利子補給補助金 公衆衛生向上事業補助金	600		負担金補助及び交付金	設備改善資金利子補給補助金 公衆衛生向上事業補助金	1,230
	<b>合計</b>		600		<b>合計</b>		1,230

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-002	事務事業名	公衆浴場助成事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	公衆浴場設備改善資金の利子補給件数	設備改善資金の利子補給を受けている市内の公衆浴場営業者数			0	0	1
		令和元年度	件	1			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×				×	×
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>・平成27年度まで交付してきた明石浴場組合運営事業補助金は、本来、団体の自己財源で賄うべき団体自体の運営経費に充てられていたことから、明石浴場組合との調整を踏まえながら段階的に減額してきた。</p> <p>・平成28年度からは地域住民の健康増進や防災意識啓発への寄与を目的とした公衆衛生向上事業に対する補助金に切り替えている。</p> <p>・公衆衛生向上のため、公衆浴場設備改善資金利子補給補助金は継続していく。</p>						

# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	夜間休日応急診療所管理運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145301000 - 003		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	衛生費					
	<b>項</b>	保健衛生費					
	<b>目</b>	保健衛生総務費					
	<b>事業</b>	夜間休日応急診療所管理運営事業					
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野		<b>事業所管課</b>	感染対策局あかし保健所保健総務課			
	1-5 地域医療の充実		<b>連絡先</b>	(078)918-5414			
<b>個別計画</b>			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 15 年度	
			<b>根拠法令・要綱等</b>	救急医療対策事業実施要綱(厚生労働省) 明石市立夜間休日応急診療所条例・施行規則			
			<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	その他	
				委託	指定管理	○	

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか)</b>				
	夜間休日応急診療所において、夜間及び休日における救急患者(内科・小児科)に急的な診療を行い、内科と小児科の初期救急医療体制を確保する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	診療回数	初期救急医療を担う施設として、夜間休日応急診療所が診療を行った回数	令和2年度	回	昼間(休日):72 夜間:365
受診者数	夜間休日応急診療所が救急患者に対し診療を行った人数	令和2年度	人	内科:8,500 小児科:10,000	

<b>事業内容</b>	①運営形態 明石市医師会を指定管理者として、夜間休日応急診療所の管理運営を行っている。
	②運営体制 管理部門: 所長(医療法上の管理者)1名、事務長1名、看護師長1名、事務員3名 診療部門: 夜間 医師2名、薬剤師2~3名、看護師3~4名、医療事務員2~4名 休日昼間 医師2~4名、薬剤師3~4名、看護師5~7名、医療事務員3~5名
	③診療時間 夜間(全日) 内科: 午後9時~午前6時、小児科: 午後9時~午前0時 昼間(日曜・祝日・年末年始) 内科: 午前9時~午後6時、小児科: 午前9時~午後6時
	④診療状況 平成30年度実績 内科8,320人、小児科 9,722人、計18,042人 令和元年度実績 内科7,790人、小児科 9,435人、計17,225人 令和2年度見込 内科8,500人、小児科 10,000人、計18,500人
	⑤その他 ・東播磨圏域(明石市、加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)における小児患者の保護者等からの電話相談に対し、症状に応じた適切な対処方法、受診の要否及び適切な医療機関等の紹介等を行う東播磨圏域小児救急医療電話相談窓口を設置している。 平成30年度実績 1,220件 令和元年度実績 1,266件 令和2年度見込 1,250件

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○								○						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
30決算	322,481	2,430	324,911	1,902	0	202,565	120,444	正規	0.70	7人	0.00	
01当初予算	326,085	4,995	331,080	2,813	0	193,504	134,763		再任用	0.00	その他	0.00
01決算	325,507	4,995	330,502	1,878	0	202,962	125,662		任期付	0.06	合計	0.76
02当初予算	331,585	5,832	337,417	2,798	0	194,424	140,195					

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	アスベスト含有分析調査	63		需用費	夜間休日応急診療所修繕料・運営連絡会食糧費	104
	委託料	夜間休日応急診療所指定管理料	322,963	委託料	夜間休日応急診療所指定管理料	329,000	
	使用料及び賃借料	夜間休日応急診療所用地借地料	2,481	使用料及び賃借料	夜間休日応急診療所用地借地料	2,481	
	<b>合計</b>		325,507	<b>合計</b>		331,585	

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-003	事務事業名	夜間休日応急診療所管理運営事業
------	----------------	-------	-----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	診療回数	初期救急医療を担う施設として、夜間休日応急診療所が診療を行った回数			昼間(休日):72 夜間:365	昼間(休日):76 夜間:366	昼間(休日):75 夜間:365
		令和2年度	回	昼間(休日):72 夜間:365			
	受診者数	夜間休日応急診療所が救急患者に対し診療を行った人数			内科:8,320 小児科:9,722	内科:7,790 小児科:9,435	内科:8,500 小児科:10,000
		令和2年度	人	内科:8,500 小児科:10,000			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診者数の増減に関わらず、一般医療機関が診療していない時間帯に診療を行う意義は大きい。</li> <li>・二次救急医療機関への患者の集中を避ける等、負担軽減の役割を担っている。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>開設後16年が経過し、365日ほぼ24時間稼働していることもあり、施設・設備面で修繕などの対応が多くなっている。また、小児科においては、医師不足により深夜帯の診療を行っておらず、今後さらに診療体制の確保が困難になることが懸念される。今後とも、指定管理者との綿密な連携と調整を図り、施設の維持管理、診療業務の維持並びに質の向上を図っていく。</p>						

## 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	あかしユニバーサル歯科診療所運営事業 (旧: 障害者等歯科診療所運営事業)	新規/継続	継続事業	整理番号	0145301000 - 004		
		分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	衛生費	事業所管課	感染対策局あかし保健所保健総務課			
	項	保健衛生費	連絡先	(078)918-5414			
	目	保健衛生総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度	
	事業	あかしユニバーサル歯科診療所運営事業	根拠法令・要綱等	明石市立あかしユニバーサル歯科診療所条例・施行規則			
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野	実施方法	直営	補助・助成	その他		
	1-3 障害者福祉の充実		委託	指定管理	○		
<b>個別計画</b>	障害者計画						

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	障害又は疾病その他の事由により、一般の歯科開業医での治療が困難な者の歯科診療、及び休日における応急の歯科診療を実施する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	患者数	あかしユニバーサル歯科診療所の年間の患者数	令和2年度	人	5,000

<b>事業内容</b>	①運営形態 明石市歯科医師会を指定管理者として、管理運営を行っている。 ※令和2年5月31日までは、休日歯科急病センター兼障害者等歯科診療所(明石市貴崎1-5-13 明石市立総合福祉センター内) 令和2年6月8日からは、あかしユニバーサル歯科診療所(明石市鷹匠町1-33 明石市立市民病院 敷地内)
	②運営体制 常勤: 歯科医師2名、歯科衛生士2名、歯科助手1名、事務員1名 非常勤: 歯科衛生士1名、歯科助手1名
	③診療時間 障害者等歯科診療 月曜日～土曜日の午前9時30分～12時30分、午後1時30分～5時(土曜日は午前診のみ) 障害者(児)電話歯科相談 月曜日・火曜日・金曜日の午前10時～12時30分、午後1時30分～4時30分 休日歯科診療 日曜日、祝日及び年末年始の午前10時～午後2時
	④診療状況 平成30年度実績 開設日97日、利用者数延1,127人 令和元年度実績 開設日97日、利用者数延1,128人 令和2年度見込 開設日342日、利用者数延5,000人

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○								○						

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	41,376	5,270	46,646	0	0	13,332	33,314	正規	0.70	ｱｲﾊﾞｲ	0.00
01当初予算	293,530	5,022	298,552	0	250,100	12,154	36,298	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	102,181	5,022	107,203	0	61,400	13,714	32,089	任期付	0.13	合計	0.83
02当初予算	111,888	6,021	117,909	0	0	54,530	63,379				

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	公募型プロポーザル方式の選定委員報償費	55		委託料	指定管理料、委託料	108,500
	旅費	近接地旅費	5		負担金補助及び交付金	水道分担金	300
	需用費	AEDバッテリーパック	39		需用費	修繕料	1,000
	委託料	指定管理料、委託料	57,082		役務費	移転費	2,000
	工事請負費	あかしユニバーサル歯科診療所建設工事	45,000		その他	消耗品費、手数料	88
	<b>合計</b>				<b>102,181</b>	<b>合計</b>	

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-004	事務事業名	あかしユニバーサル歯科診療所運営事業 (旧: 障害者等歯科診療所運営事業)
------	----------------	-------	------------------------------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	患者数	あかしユニバーサル歯科診療所の年間の患者数			1,127人	1,128人	5,000人
		令和2年度	人	5,000			
<b>指標で表せない成果</b>							
旧障害者等歯科診療所よりも診療日時を大幅に拡充し、診療設備の充実化や全身麻酔による歯科治療への対応など、一般の歯科開業医では治療困難な心身障害者(児)等の歯科治療や保健指導を行う意義は大きい。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
旧休日歯科急病センター兼障害者等歯科診療所(明石市貴崎1-5-13 明石市立総合福祉センター内)は、老朽化に伴い令和2年5月末を以て閉所し、令和2年6月8日、明石市立市民病院の敷地内に新たに“あかしユニバーサル歯科診療所”(明石市鷹匠町1-33)を開設した。障害者など一般の歯科開業医では受診が困難な方や休日の緊急対応を要する方を対象とした「歯科診療が受けられない市民ゼロ」を目指す歯科診療所とするとともに、立地を活かした医科・歯科連携を軸に、ユニバーサル社会の実現に資するよう、口腔保健の拠点としての運営を目指す。						



## 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	地方独立行政法人明石市立市民病院関連事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145301000 - 005				
		分割/統合							
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	衛生費	事業所管課	感染対策局あかし保健所保健総務課					
	項	保健衛生費	連絡先	(078)918-5414					
	目	保健衛生総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 23 年度			
	事業	地方独立行政法人明石市立市民病院関連事業	根拠法令・要綱等	地方独立行政法人法、地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会条例					
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
	1-5 地域医療の充実			委託		指定管理			
<b>個別計画</b>	地方独立行政法人明石市立市民病院中期目標								

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	・地方独立行政法人明石市立市民病院が基本理念を実現するよう、業務の質の向上や業務運営の改善及び効率化、財務内容の改善に資することを目的とした意見を述べる（評価を行う）評価委員会を開催する。 ・高度で総合的な医療や救急医療、小児医療などの政策医療が提供できるよう必要な財源措置を行う。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>

<b>事業内容</b>	<b>【地方独立行政法人明石市立市民病院評価委員会】</b> 評価委員会を開催し、市が策定する中期目標に基づき法人が作成する中期計画及び年度計画に対する実績評価を行うとともに、中期目標期間終了年度には年度評価とともに今後の方向性の検討を行う。 <平成30年度> 7回 ・平成29事業年度における業務の実績評価、第2期中期目標期間の終了時の見込評価及び検討等について、評価委員会に対し意見聴取を行った。 ・第3期中期目標の策定に係る審議を行った。 ・法人の第3期中期計画の策定に係る意見聴取を行った。 <令和元年度> 3回 ・平成30事業年度における業務の実績評価、第2期中期目標期間の終了時の業務実績に係る評価等について、評価委員会に対し意見聴取を行った。 <令和2年度> 2回（見込） ・2019事業年度における業務の実績評価等について、評価委員会に対し意見聴取を実施。（新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、開催方法を見直し、メール等での意見集約を併せて実施。）	
	<b>【運営費負担金の交付】</b> ・地方独立行政法人明石市立市民病院の救急医療や小児医療、高度医療といった政策医療にかかる経費等を基準に基づき市が負担する。 運営費負担金 平成30年度（決算） 1,049,495千円 令和元年度 923,800千円 令和2年度（見込） 863,984千円	

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○								○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	1,050,141	7,290	1,057,431	0	0	0	1,057,431	正規	1.00	ｱｶｼ	0.00
01当初予算	945,889	5,670	951,559	0	0	0	951,559	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	923,966	5,670	929,636	0	0	0	929,636	任期付	0.00	合計	1.00
02当初予算	864,521	8,100	872,621	0	0	0	872,621				

<b>令和元年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>令和2年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額
	報酬	評価委員報酬	91		報酬	評価委員報酬	249
	旅費	評価委員との事前調整、その他旅費	32		報償費	学識経験者謝礼等	100
	需用費	2019年度年度計画製本	43		旅費	評価委員との事前調整、その他旅費	90
	負担金補助及び交付金	地方独立行政法人明石市立市民病院に係る運営費負担金	923,800		負担金補助及び交付金	地方独立行政法人明石市立市民病院に係る運営費負担金	863,984
					その他	評価委員会に必要な需用費、使用料等	98
<b>合計</b>			923,966	<b>合計</b>			864,521

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-005	事務事業名	地方独立行政法人明石市立市民病院関連事業
------	----------------	-------	----------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
<b>指標で表せない成果</b>							
<p>市が指示した中期目標をもとに法人が策定した第3期中期計画(平成31年4月～令和4年3月)に沿って着実に計画を遂行することが事業の成果となる。また、令和2年初めからの新型コロナウイルス感染症の拡大状況下において、「帰国者・接触者外来」の開設によるPCR検査の実施や、市内で唯一、入院患者の受け入れを行う等、地域中核病院としての役割を果たしている。</p>							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>・2019事業年度の業務の実績評価及び財務諸表等の意見の聴取を行う。          ・平成3年の竣工から29年を迎えようとするなか、老朽化・狭隘化が進む施設の整備方針をはじめ医療環境の変化に伴う病院の方向性など、市民病院の今後のあり方についての検討が必要である。</p>						

# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	保健衛生統計調査事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145301000 - 006				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	衛生費		<b>事業所管課</b>	感染対策局あかし保健所保健総務課				
	<b>項</b>	保健衛生費			<b>連絡先</b>	(078)918-5414			
	<b>目</b>	保健所費				<b>自治/法定</b>	法定受託事務	開始年度	平成 30 年度
	<b>事業</b>	保健衛生統計調査事務事業					<b>根拠法令・要綱等</b>	地域保健法、人口動態調査令、医療施設調査規則、国民生活基礎調査規則、患者調査規則、統計調査関係通知、医師法等	
<b>施策分野</b>		<b>実施方法</b>	直営					○	補助・助成
<b>個別計画</b>			委託					指定管理	

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	統計法や地域保健法等に基づく人口動態統計や地域保健に係る統計及び調査事務を目的とする。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	国民生活基礎調査回収率	回収率 = 回収件数 / 調査対象件数	令和2年度	%	80

**事業内容**

厚生統計事務  
 ・県支出負担行為担当官との契約等により、厚生労働統計調査等を実施。  
 ●人口動態調査(毎月)  
 人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的に実施。市民課が作成する人口動態調査票を取りまとめ、毎月、都道府県知事に送付する。  
 ●国民生活基礎調査(毎年:世帯票)(3年毎に大規模調査:世帯票、健康票、介護票)  
 保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得ることを目的とし実施。国勢調査区から無作為に抽出された市内地区の世帯及び世帯員等が対象。  
 ・簡易調査:世帯票(H29、H30、R2は中止) ・大規模調査:世帯票・健康票・介護票(H28、R1)  
 ●社会保障・人口問題基礎調査(出生動向基本調査)  
 結婚と夫婦出生力の動向ならびにその背景を定期的に調査・計量し、関連諸施策ならびに人口動向把握等に必要の基礎データを得ることを目的に実施。(R2は中止)  
 ●医療施設静態調査(R2)  
 病院及び診療所(以下「医療施設」という。)について、その分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得ることを目的に実施。  
 ●患者調査  
 病院及び診療所を利用する患者について、その傷病の状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ることを目的に実施。  
 ●受療行動調査  
 全国の医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査することにより、患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的に実施。  
 ●医師・歯科医師・薬剤師統計調査(H30、R2)  
 医師、歯科医師及び薬剤師について、性、年齢、業務の種類、従事場所及び診療科名(薬剤師を除く。)等による分布を明らかにし、厚生労働行政の基礎資料を得ることを目的に実施。  
 ●衛生行政報告例  
 衛生行政の実態を把握し、衛生行政運営の基礎資料を得ることを目的として実施。  
 ●地域保健・健康増進事業報告  
 地域住民の健康の保持及び増進を目的とした保健施策の展開等を把握し、地域保健施策のための基礎資料を得ることを目的として実施。

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	1,166	6,480	7,646	6,028	0	0	1,618				
01当初予算	1,801	5,265	7,066	6,486	0	0	580	正規	0.60	7人外	0.00
01決算	1,469	5,265	6,734	6,282	0	0	452	再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算	1,759	5,400	7,159	6,915	0	0	244	任期付	0.20	合計	0.80

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	調査員手当	346		報酬	調査員手当	761
旅費	担当者会議、講習会の旅費	58	旅費	担当者会議、講習会の旅費	115		
需用費	消耗品費、食糧費	699	需用費	消耗品費、食糧費	535		
役務費	郵送料	148	役務費	郵送料	148		
使用料及び賃借料	コピー使用料	119	使用料及び賃借料	コピー使用料	190		
備品購入費	PC購入	99	負担金補助及び交付金	研修会	10		
<b>合計</b>			1,469	<b>合計</b>			1,759

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-006	事務事業名	保健衛生統計調査事務事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	国民生活基礎調査 回収率	回収率=回収件数/調査対象件数			86.2	60.7	— (調査中止)
		令和2年度	%	80			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項及び出産・子育て、老親の扶養・介護をはじめとする家庭の諸機能の実態、変化要因を調査し、厚生労働行政施策立案の基礎資料を提供している。</li> <li>・衛生行政の実態や地域住民の健康の保持及び増進を目的とした保健施策の展開等を把握し、衛生行政の運営や地域保健施策のための基礎資料を得ることを目的として実施している。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
法令等に基づき中核市長または保健所長が実施する事業であり、今後も継続して円滑な実施を図る。						

# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	医事関係事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145301000 - 007				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	衛生費							
	<b>項</b>	保健衛生費							
	<b>目</b>	保健所費							
	<b>事業</b>	医事関係事務事業							
<b>施策分野</b>			<b>事業所管課</b>	感染対策局あかし保健所保健総務課					
			<b>連絡先</b>	(078)918-5414					
<b>個別計画</b>			<b>自治/法定</b>	法定受託事務	<b>開始年度</b>	平成 30 年度			
			<b>根拠法令・要綱等</b>	医療法、あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律、柔道整復師法、歯科技工士法、健康増進法、医師法、歯科医師法等					
			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
				委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 医療法に基づく医療施設への立入検査、医療関係施設の開設等に伴う許可・届出受理事務、健康増進法に基づく特定給食施設等の申請の受理及び指導、医療従事者等の免許事務、患者や市民からの医療に関する相談等に対する窓口業務を実施し、市民サービスの向上を図る。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
指導改善率	医療機関への指導・指摘事項の徹底を図る 指導改善率＝改善数／指導数	令和2年度	%	100
指導率	給食施設への指導・指摘事項の徹底を図る 指導率＝指導施設数／指導対象施設数	令和2年度	%	100

<b>事業内容</b>	○医療機関等各種申請の受理等				
	・病院に関する申請等の受理、県への進達	H30(実績)123件	R1(実績)155件	R2(見込)150件	
	・診療所、助産所に関する申請等の受理、開設許可	H30(実績)316件	R1(実績)240件	R2(見込)250件	
	・医療法人に関する申請等の受理、県への進達	H30(実績)280件	R1(実績)289件	R2(見込)280件	
	・施術所に関する届出の受理	H30(実績)85件	R1(実績)124件	R2(見込)120件	
	・歯科技工所に関する届出の受理	H30(実績)8件	R1(実績)12件	R2(見込)12件	
	○立入検査				
	・病院の立入検査	H30(実績)21件	R1(実績)21件	R2(見込)21件	
	・透析診療所の立入検査	H30(実績)6件	R1(実績)6件	R2(見込)6件	
	・有床診療所の立入検査	H30(実績)6件	R1(実績)6件	R2(見込)6件 (有床透析診療所1件除く)	
・無床診療所、助産所の立入検査	H30(実績)9件	R1(実績)10件	R2(見込)10件 (無床透析診療所5件除く)		
・施術所、歯科技工所の立入検査	H30(実績)19件	R1(実績)20件	R2(見込)20件		
○栄養管理					
・給食施設の栄養管理に関する指導助言	H30(実績)115件	R1(実績)139件	R2(見込)140件		
・特定給食施設に関する届出の受理	H30(実績)17件	R1(実績)31件	R2(見込)30件		
・栄養成分表示に係る相談	H30(実績)15件	R1(実績)32件	R2(見込)32件		
○免許等事務					
・医療従事者(医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、管理栄養士、栄養士)の免許申請の受理、県への進達、免許証交付	H30(実績)456件	R1(実績)552件	R2(見込)550件		
・死体解剖認定に係る申請の受理、県への進達、認定証の交付	H30(実績)0件	R1(実績)0件	R2(見込)0件		
・受胎調節実地指導員に係る申請の受理、県への進達、指導員証の交付	H30(実績)3件	R1(実績)3件	R2(見込)3件		
○医療安全相談窓口					
・医療に関する不安や疑問への情報提供、助言	H30(実績)256件	R1(実績)323件	R2(見込)300件		

SDGs(17の目標)																	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
		○															

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算	251	27,695	27,946	1,245	0	517	26,184	正規	4.20	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
01当初予算	1,885	37,638	39,523	1,350	0	511	37,662					再任用	0.00	その他	0.00
01決算	1,604	37,638	39,242	1,036	0	490	37,716					任期付	1.30	合計	5.50
02当初予算	2,089	37,530	39,619	1,552	0	531	37,536								

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	立入検査や医療安全相談、各種講習会、業務会議の旅費	173		報償費	医療安全支援研修会講師謝礼	50
需用費	立入検査及び免許事務消耗品費、医療安全市民向けリーフレット印刷	110	旅費	立入検査や医療安全相談、各種講習会、業務会議の旅費	360		
役務費	医療機関や施術所、免許事務用郵便代	300	需用費	立入検査及び免許事務消耗品費、医療安全市民向けリーフレット印刷	200		
委託料	医療安全相談窓口(委託看護師)	995	役務費	医療機関や施術所、免許事務用郵便代	300		
その他	コピー、会場使用料、各種講習会、学術総会、シンポジウム負担金	26	委託料	医療安全相談窓口(委託看護師)	1,060		
			その他	コピー、会場使用料、各種講習会、学術総会、シンポジウム負担金	119		
	<b>合計</b>		1,604		<b>合計</b>	2,089	

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-007	事務事業名	医事関係事務事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	指導改善率	医療機関への指導・指摘事項の徹底を図る 指導改善率=改善数/指導数			91.9% ・病院21施設 ・透析診療所6施設 (有床1施設含む) ・有床診療所6施設	88.7% ・病院21施設 ・透析診療所6施設 (有床1施設含む) ・有床診療所5施設	100% ・病院21施設 ・透析診療所6施設 (有床1施設含む) ・有床診療所6施設
		令和2年度	%	100			
	指導率	給食施設への指導・指摘事項の徹底を図る 指導率=指導施設数/指導対象施設数			110.6%	132.4%	100%
		令和2年度	%	100			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>病院、透析診療所、有床診療所の定期的な立入検査及び新規開設した無床診療所、助産所、施術所、歯科技工所の立入検査を実施している。定期的な立入検査については、前回の指導事項等が改善しているかを重点的に検査を行い、その他の内容についても法令や要綱の内容が十分実施されているかの検査を行う。施設に対して適切な指導及び助言を行うことにより市内医療機関等の資質向上を図る。</p> <p>また、給食施設指導においては、指導対象施設を過去の指導記録票と栄養管理報告書等を基に抽出し、計画的に実施する。施設の栄養管理状況の実態把握と栄養管理の実施に必要な指導及び助言を行い、給食施設の資質向上を図る。</p>						

# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	薬事関係事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145301000 - 008				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	衛生費		<b>事業所管課</b>	感染対策局あかし保健所保健総務課				
	<b>項</b>	保健衛生費			<b>連絡先</b>	(078)918-5414			
	<b>目</b>	保健所費				<b>自治/法定</b>	自治+法定	<b>開始年度</b>	平成 31 年度
	<b>事業</b>	薬事関係事務事業					<b>根拠法令・要綱等</b>	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法 等	
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野	<b>実施方法</b>	直営					○	補助・助成
	1-5 地域医療の充実		委託					指定管理	
<b>個別計画</b>									

**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 医薬品等の有効性、安全性と品質の確保等を図り、市民への健康被害を未然に防止するため、薬局等への監視・指導等を徹底する。また、麻薬・覚醒剤や違法ドラッグの乱用による事件が社会問題になっており、憂慮すべき状況にあることから、関係機関との連携のもと、啓発運動を推進するとともに、薬物乱用を許さない社会環境づくりに努める。

<b>事業の目的・目標</b>	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	監視率	薬局等への監視・指導を徹底する。 監視率 = 立入検査実施施設数 / 要監視施設数	令和2年度	%	100

**事業内容**

○薬事関係  
 ・薬局の開設計可、届出(R1実績:許可10、更新25、届出478 R2見込み:許可5、更新17、届出470)  
 ・高度管理医療機器等販売業(貸与業)の許可、届出(R1実績:許可14、更新10、届出55 R2見込み:許可8、更新13、届出50)  
 ・管理医療機器販売業(貸与業)の届出(R1実績:45 R2見込み:45)  
 ・店舗販売業の許可、届出(R1実績:許可2、更新2、届出125 R2見込み:許可2、更新4、届出120)  
 ・販売従事登録申請等の受付(R1実績:49 R2見込み:50)  
 ・毒物劇物販売業等の登録、届出(R1実績:登録5、更新2、届出12 R2見込み:登録2、更新15、届出10)  
 ・麻薬及び覚醒剤取扱者の免許申請及び届出の受付(R1実績:申請396、届出1005 R2見込み:申請400、届出1000)  
 ・向精神薬試験研究施設設置者の申請及び届出の受付(R1実績:申請0、届出1 R2見込み:申請0、届出1)  
 ・向精神薬事故届の受付(R1実績:0 R2見込み:0)  
 ・薬剤師免許の申請等受付(R1実績:56 R2見込み:55)  
 ・薬局、店舗販売業、高度管理医療機器等販売業貸与業、毒物劇物販売業への要監視施設への立入検査の実施  
 (要監視施設数:R1:132 R2:133)

○薬物乱用防止等の取組  
 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動  
 市内の中学校・高等学校で薬物乱用防止に関する講習会を実施。(R1実績:4か所 1,907人に実施)  
 兵庫県、東播磨薬物乱用防止指導員協議会等が主催する薬物乱用防止指導啓発事業への協力、実施。  
 ・不正大麻・けし撲滅運動  
 5月から6月に自生している大麻・けしの抜去・処分及び不正大麻・けし撲滅に係る啓発運動を実施。

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算	162	15,795	15,957	657	0	1,161	14,139	正規	2.65	77人外	0.00				
01当初予算	400	15,390	15,790	399	0	735	14,656					再任用	0.00	その他	0.00
01決算	297	15,390	15,687	647	0	1,257	13,783					任期付	0.00	合計	2.65
02当初予算	418	21,465	21,883	678	0	673	20,532								

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	全国主管課長会議、県担当者会議等の旅費	12		旅費	全国主管課長会議、県担当者会議等の旅費	158
	需用費	薬事慣例法規集購入費、薬物乱用防止啓発事業費	40	需用費	薬事慣例法規集購入費、薬物乱用防止啓発事業費	180	
	役務費	郵送料	80	役務費	郵送料	80	
	備品購入費	薬物乱用防止啓発活動用パネル購入費等	165				
	<b>合計</b>		297		<b>合計</b>	418	

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-008	事務事業名	薬事関係事務事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	監視率	薬局等への監視・指導を徹底する。 監視率＝立入検査実施施設数／要監視施設数			100	100	100
		令和2年度	%	100			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>1 平成29年度に発生した偽造医薬品の流通事件を受けて、薬局等に対して医薬品医療機器等法で作成が必須となっている手順書に偽造医薬品の流通防止に向けた対策に関する事項の追加することが義務付けられた。しかしながら、立入検査等を実施した結果、当該事項を手順書に追加していない薬局等が多数あることから、周知徹底する必要がある。</p> <p>2 令和元年度の兵庫県内における大麻事犯の検挙者265人のうち、30歳未満の若年層の検挙が約68%を占めており、若年層への薬物乱用の拡大が深刻な状況にある。そのため、小中学生を中心に、薬物乱用による弊害を正しく伝えるための啓発活動を実施することが重要である。</p> <p>そのため、平成31年4月から、明石市薬物乱用防止啓発活動等実施要領に基づき、主に小中学生を対象に薬物乱用防止のために各種啓発活動を実施することとなった。</p> <p>令和元年度実績では、市内の中学校3校、高等学校1校に対して薬物乱用防止に係る講習会開催を実施した。しかしながら、市内には13の中学校及び28の小学校があり、現在のところ薬物乱用防止の啓発活動の実施率が低い状況にある。そのため、今後、市内各小中学校で当該啓発活動の実施実施率を上げるための周知方法等を検討する必要がある。</p>						



# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	保健一般事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145301000 - 009		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	衛生費					
	<b>項</b>	保健衛生費					
	<b>目</b>	保健所費					
	<b>事業</b>	保健一般事務事業					
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野	<b>事業所管課</b> 感染対策局あかし保健所保健総務課					
	1-5 地域医療の充実						
<b>個別計画</b>			<b>連絡先</b>		(078)918-5414		
			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明	
<b>実施方法</b>	<b>根拠法令・要綱等</b>		地域保健法、明石市補助金等交付規則、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律、明石市若年者在宅ターミナルケア支援事業実施要綱、明石市災害対応病院設置運営要領				
				<b>委託</b>		<b>指定管理</b>	

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	「一人ひとりの命と健康を地域一体で支える」方針のもと、質の高い総合的な保健衛生サービスを行うため、保健所運営にかかる経費を管理する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
若年者の在宅ターミナルケア支援件数	支援申請件数	令和2年度	人	3	

<b>事業内容</b>	①保健所の運営に必要な一般的な経費の執行 ②明石市健康大学講座運営事業補助金(市民を対象とした健康大学講座を開催する明石市医師会へ補助金を交付) 平成30年度実績200,000円、令和元年度実績200,000円、令和2年度見込200,000円 ③災害対応病院(明石医療センター)に係る医薬品や衛生資材等の備蓄に対する補助 平成30年度実績なし、令和元年度実績200,000円、令和2年度見込200,000円 ④若年者の在宅ターミナルケア支援事業(40代未満のがん末期患者及びその家族の負担の軽減・平成28年度開始) 平成30年度実績 3名、270,675円、令和元年度実績 4名、28,926円、令和2年度見込 3名、900,000円 ⑤献血推進事業(本庁での職場献血の推進や市内の献血事業の啓発を行い、必要な献血量の確保に努める) 平成30年度実績10,893人、令和元年度実績11,131人、令和2年度見込13,000人
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	17,017	17,465	34,482	135	4,200	103	30,044				
01当初予算	9,946	13,527	23,473	450	0	156	22,867	正規	0.95	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
01決算	6,752	13,527	20,279	14	0	51	20,214	再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算	10,479	10,935	21,414	450	0	67	20,897	任期付	1.20	合計	2.15

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品、医薬材料費等	1,425		需用費	消耗品、医薬材料費等	3,485
	委託料	生活衛生・薬事等情報処理システム保守業務委託	2,277		委託料	生活衛生・薬事等情報処理システム保守業務委託	2,339
	使用料及び賃借料	コピー使用料	943		使用料及び賃借料	コピー使用料	1,000
	負担金補助及び交付金	健康大学講座運営事業補助、災害対応病院補助	571		負担金補助及び交付金	健康大学講座運営事業補助、災害対応病院補助	605
	扶助費	若年者在宅ターミナルケア支援事業	29		扶助費	若年者在宅ターミナルケア支援事業	900
	その他	報酬、旅費、備品購入費、役務費	1,507		その他	報酬、旅費、備品購入費、役務費	2,150
	<b>合計</b>		<b>6,752</b>		<b>合計</b>		<b>10,479</b>

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-009	事務事業名	保健一般事務事業		
------	----------------	-------	----------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	若年者の在宅ターミナルケア支援件数	支援申請件数			2	4	3
		令和2年度	人	3			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・令和2年度より、あかし保健所は感染対策局所属となり、災害対応においても医療部救護対策班に改められるなど、災害対応関係で組織体制や備えを見直していく必要があり、そのための必要な対応を行っていく。						

## 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		保健所施設維持管理事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145301000 - 010									
				分割/統合												
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容												
	款	衛生費		事業所管課	感染対策局あかし保健所保健総務課											
	項	保健衛生費		連絡先	(078)918-5414											
	目	保健所費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 30 年度									
	事業	保健所施設維持管理事業		根拠法令・要綱等		地域保健法、地方自治法										
施策分野		1 健康・福祉分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他								
		1-5 地域医療の充実			委託		指定管理									
個別計画																
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	保健所施設を適切に管理運営する。															
	成果指標															
	指標名	考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値								
事業内容	施設の維持管理に関する事業															
	<p>【主な事業内容】</p> <p>平成30年度実績 指定管理による施設の維持管理委託、デジタル簡易無線あかし保健所回路追加業務委託</p> <p>令和元年度実績 直営による施設の維持管理業務委託、非常用電源改修工事、あかし保健所公用車駐車場整備工事</p> <p>令和2年度予定 直営による施設の維持管理業務委託、保健所施設修繕</p>															
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		42,990	5,960	48,950	0	3,700	64	45,186								
01当初予算		114,361	9,180	123,541	0	15,000	9,653	98,888	正規	1.00	ｱｶｼ	0.00				
01決算		97,807	9,180	106,987	0	13,600	11,026	82,361	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		80,843	9,396	90,239	0	0	11,720	78,519	任期付	0.48	合計	1.48				
令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容		金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額							
	需用費	光熱水費、施設修繕料		23,732		需用費	光熱水費、施設修繕料		17,750							
	役務費	医療施設賠償責任保険ほか		548		役務費	医療施設賠償責任保険ほか		851							
	委託料	施設維持管理費ほか		59,348		委託料	施設維持管理費ほか		59,434							
	使用料及び賃借料	電話交換機等保守		365		使用料及び賃借料	電話交換機等保守		1,200							
	その他	工事請負費、負担金補助及び交付金、備品購入費、公課費		13,814		その他	負担金補助及び交付金、備品購入費、公課費		1,608							
	合計					97,807	合計		80,843							

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-010	事務事業名	保健所施設維持管理事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
2019年度より、施設1階の産業交流センターを廃止し全館をあかし保健所とし、指定管理者が行っていた維持管理も市が直営で実施している。						

# 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名 特定不妊・不育症支援事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145301000 - 011		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計					
	款	衛生費					
	項	保健衛生費					
	目	保健所費					
	事業	特定不妊・不育症支援事業					
事業の分割/統合の内容							
事業所管課		感染対策局あかし保健所保健総務課					
連絡先		(078)918-5414					
自治/法定		自治事務	開始年度	平成 30 年度			
根拠法令・要綱等		母子保健衛生費国庫補助金交付要綱、明石市特定不妊治療支援事業実施要綱、兵庫県不育症治療支援実施要綱、明石市不育症治療支援事業実施要綱					
実施方法		直営	○	補助・助成	その他		
個別計画		委託		指定管理			

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	不妊に悩む方、子どもをほしいと願う方がその希望を叶えることができるよう、不妊治療、不育症治療を後押しする。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	特定不妊・不育症治療支援件数	特定不妊治療支援事業及び不育症治療支援事業の利用件数	令和元年度	件	380

事業内容	①特定不妊治療支援事業（不妊治療を行う夫婦の負担軽減のため費用の一部を国と市が助成） 助成上限額：国制度15万（初回治療のみ30万）、市制度5万 平成30年度実績 385件 67,282,808円 令和元年度実績 350件 66,281,870円 令和2年度見込 390件 69,000,000円	
	②不育症治療支援事業（不育検査や治療を行う夫婦の負担軽減のため費用の一部を県と市が助成） 助成額：検査・治療費の1/2（上限なし） 平成30年度実績 2件 68,230円 令和元年度実績なし 令和2年度見込 5件 500,000円	

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	67,351	1,890	69,241	36,521	0	0	32,720	正規	0.50	ｱｶｼ	0.00
01当初予算	58,630	3,159	61,789	28,305	0	0	33,484	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	66,354	3,159	69,513	32,516	0	0	36,997	任期付	0.57	合計	1.07
02当初予算	69,600	5,589	75,189	33,285	0	0	41,904				

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	印刷製本費	42		旅費	不妊専門相談に係る学習会への参加	10
	役務費	郵便料金	20		役務費	郵便料金	30
	委託料	不妊専門相談委託	10		委託料	不妊専門相談委託	60
	扶助費	特定不妊治療支援事業 不育症治療支援事業	66,282		扶助費	特定不妊治療支援事業 不育症治療支援事業	69,500
合計			66,354	合計			69,600

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-011	事務事業名	特定不妊・不育症支援事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	特定不妊・不育症治療支援件数	特定不妊治療支援事業及び不育症治療支援事業の利用件数			385	350	390
		令和元年度	件	380			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>特定不妊・不育症治療支援事業については、中核市移行に伴い平成30年度から開始した事業である。県から移譲を受けた事務を滞りなく行っていく過渡期であることから、他市の実施状況や取組を見極めながら、支援策の充実に向け検討を行っていく必要がある。</p>						

## 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	地方独立行政法人明石市立市民病院貸付金	新規/継続	継続事業	整理番号	0145301000 - 012		
		分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	会計	病院事業債管理	事業の分割/統合の内容				
	款	貸付金	事業所管課	感染対策局あかし保健所保健総務課			
	項	貸付金	連絡先	(078)918-5414			
	目	病院事業貸付金	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 23 年度	
	事業	地方独立行政法人明石市立市民病院貸付金	根拠法令・要綱等	地方独立行政法人法			
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
	1-5 地域医療の充実			委託		指定管理	
<b>個別計画</b>	地方独立行政法人明石市立市民病院中期目標						

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	・施設整備や医療機器の更新により、地方独立行政法人明石市立市民病院が患者や市民、地域の医療機関からの信頼に応える高度な医療を提供できるようにする。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>

<b>事業内容</b>	・地方独立行政法人明石市立市民病院に対して、建設改良等に係る貸付を行う。				
	【市民病院への施設整備や医療機器等に係る貸付業務】				
	平成30年度(決算)	380,200千円	(内訳)		
	医療機器等	380,200千円			
	令和元年度(決算)	300,000千円	(内訳)		
医療機器等	300,000千円				
令和2年度(予算)	950,000千円	(内訳)			
医療機器等	950,000千円	※電子カルテシステムのリプレースを予定(650,000千円)			

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○								○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	380,200	486	380,686	0	380,200	0	486	正規	0.08	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
01当初予算	300,000	648	300,648	0	300,000	0	648	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	300,000	648	300,648	0	300,000	0	648	任期付	0.00	合計	0.08
02当初予算	950,000	648	950,648	0	950,000	0	648				

<b>令和元年度 決算事業費 明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>令和2年度 当初予算 事業費 明細</b>	区分(節)	内容	金額
	貸付金	施設及び医療機器等の整備に係る建設改良費	300,000		貸付金	施設及び医療機器等の整備に係る建設改良費	950,000
	<b>合計</b>		300,000		<b>合計</b>		950,000

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-012	事務事業名	地方独立行政法人明石市立市民病院貸付金
------	----------------	-------	---------------------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
<b>指標で表せない成果</b>							
市が指示した中期目標をもとに法人が策定した第3期中期計画(2019年4月～2023年3月)に沿って着実に計画を遂行することが事業の成果となる。							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
法令上の特殊な事情から、法人の債務状況及び借入状況を市が管理するための特別会計である。 地方独立行政法人明石市立市民病院がより良い医療を実施していくため、施設整備及び医療機器購入等に必要な貸付を行う。						



## 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		病院事業債元金償還金		新規/継続	継続事業	整理番号	0145301000 - 013											
				分割/統合														
関連予算科目	会計	病院事業債管理		事業の分割/統合の内容														
	款	公債費		事業所管課	感染対策局あかし保健所保健総務課													
	項	公債費		連絡先	(078)918-5414													
	目	元金		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 23 年度											
	事業	病院事業債元金償還金		根拠法令・要綱等	地方独立行政法人法													
施策分野		1 健康・福祉分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他										
		1-5 地域医療の充実			委託		指定管理											
個別計画		地方独立行政法人明石市立市民病院中期目標																
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）																	
	・市民病院の法人移行までに償還されていない地方債、及び法人後の市からの貸付金の償還について、単独の会計により管理することで、一般会計の歳入歳出とは分けて明確にする。																	
	成果指標																	
	指標名	考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値										
事業内容	・地方独立行政法人明石市立市民病院に建設改良費等の経費として貸し付けた病院事業債元金分を市民病院から徴収し返済する。 市民病院から元金償還金を徴収し、市が病院事業債として金融機関等に支払う業務  平成30年度決算 病院事業債元金償還金 620,689千円  令和元年度決算 病院事業債元金償還金 490,743千円  令和2年度予算 病院事業債元金償還金 323,299千円																	
	SDGs(17の目標)																	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
				○								○						
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)									
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源										
30決算		620,689	405	621,094	0	0	620,689	405										
01当初予算		490,744	486	491,230	0	0	490,744	486	正規	0.06	ｱｶｼ	0.00						
01決算		490,743	486	491,229	0	0	490,743	486	再任用	0.00	その他	0.00						
02当初予算		323,299	486	323,785	0	0	323,299	486	任期付	0.00	合計	0.06						
令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容		金額	令和2 年度当 初予算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額									
		償還金利子及び割引料	病院事業債元金の償還	490,743			償還金利子及び割引料	病院事業債元金の償還	323,299									
		合計				490,743		合計			323,299							

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-013	事務事業名	病院事業債元金償還金		
------	----------------	-------	------------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
<b>指標で表せない成果</b>							
市が指示した中期目標をもとに法人が策定した第3期中期計画(2019年4月～2023年3月)に沿って着実に計画を遂行することが事業の成果となる。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
法令上の特殊な事情から、法人の債務状況及び借入状況を市が管理するための特別会計である。償還額(元金)は年度により変動するが、事業は継続していく。						

# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	病院事業債利子償還金		新規/継続	継続事業	整理番号	0145301000 - 014			
			分割/統合						
<b>関連予算科目</b>	会計	病院事業債管理	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	款	公債費							
	項	公債費							
	目	利子							
	事業	病院事業債利子償還金							
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	地方独立行政法人法					
	1-5 地域医療の充実								
<b>個別計画</b>	地方独立行政法人明石市立市民病院中期目標		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他		
				委託		指定管理			

**事業の目的**  
 目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）  
 ・市民病院の法人移行までに償還されていない地方債、及び法人後の市からの貸付金の償還について、単独の会計により管理することで、一般会計の歳入歳出とは分けて明確にする。

**成果指標**

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

**事業内容**

・地方独立行政法人明石市立市民病院に、建設改良等の経費として貸し付けた病院事業債利子分を市民病院から徴収し返済する。

市民病院から利子償還金を徴収し、市が病院事業債利子として金融機関等に支払う業務

平成30年度決算  
 病院事業債利子償還金  
 13,154千円

令和元年度決算  
 病院事業債利子償還金  
 10,272千円

令和2年度予算  
 病院事業債利子償還金  
 10,918千円

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○								○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)						
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源							
30決算	13,154	405	13,559	0	0	13,154	405	正規	0.06	71人	0.00			
01当初予算	14,714	486	15,200	0	0	14,714	486		再任用			0.00	その他	0.00
01決算	10,272	486	10,758	0	0	10,272	486		任期付			0.00	合計	0.06
02当初予算	10,918	486	11,404	0	0	10,918	486							

区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
合計		10,272		合計		10,918

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-014	事務事業名	病院事業債利子償還金		
------	----------------	-------	------------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
<b>指標で表せない成果</b>							
市が指示した中期目標をもとに法人が策定した第3期中期計画(2019年4月～2023年3月)に沿って着実に計画を遂行することが事業の成果となる。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
法令上の特殊な事情から、法人の債務状況及び借入状況を市が管理するための特別会計である。償還額(利子)は年度により変動するが、事業は継続していく。						



## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145301000-015	事務事業名	休日歯科急病センター運営事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	患者数	休日歯科急病センターの年間の患者数			388人	419人	/
		-	人	-			
<b>指標で表せない成果</b>							
利用者は減少傾向にあるが、休日における歯科応急措置の役割を果たしている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	令和元年度限りで『あかしユニバーサル歯科診療所運営事業』に統合					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	令和元年度限りで『あかしユニバーサル歯科診療所運営事業』に統合					

## 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名 風しん対策事業		新規/継続	新規事業	整理番号	0145302000 - 001																																							
		分割/統合																																										
関連 予算 科目 目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容																																									
	款	衛生費	事業所管課	感染対策局あかし保健所保健予防課																																								
	項	保健衛生費	連絡先	(078)918-5668																																								
	目	予防費	自治/法定	自治事務	開始年度	令和元年度																																						
	事業	風しん対策事業	根拠法令・ 要綱等	明石市風しん抗体検査事業実施要綱																																								
施策分野		1 健康・福祉分野 1-5 地域医療の充実	実施方法		直営		補助・助成	○	その他																																			
個別計画			委託	○	指定管理																																							
事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか） 妊娠を希望する女性等の風しん抗体検査を実施し、風しんの感染及びまん延、胎児の先天性風しん症候群(CRS)の発症を予防する。																																											
	成果指標																																											
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値																																					
先天性風しん症候群(CRS)発生届出数	「感染症法に基づく発生届出」報告数より			令和2年度	人	0																																						
事業 内容	妊娠を希望する女性等の風しん抗体検査<令和元年度より事業開始> 対象者:①妊娠を希望する女性 ②妊婦の同居家族 自己負担額:無料 委託先:明石市医師会(令和2年度:107医療機関) 実施期間:通年 広報:市広報紙、ホームページに掲載。自治会回覧でチラシを配布。 受診方法:希望者よりクーポン券発行申請を受付、個別送付。  抗体検査(生涯1回) 令和元年度(実績) 受診者数 530人 CRS届出数 0人 令和2年度(見込) 受診者数 550人 CRS届出数 0人  ※令和元年度については、法定予防接種事業の予算(需用費 700千円、委託料 18,000千円、扶助費 1,000千円)より執行。																																											
	SDGs(17の目標)																																											
<table style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;">①</td><td style="width: 12.5%;">②</td><td style="width: 12.5%;">③</td><td style="width: 12.5%;">④</td><td style="width: 12.5%;">⑤</td><td style="width: 12.5%;">⑥</td><td style="width: 12.5%;">⑦</td><td style="width: 12.5%;">⑧</td><td style="width: 12.5%;">⑨</td><td style="width: 12.5%;">⑩</td><td style="width: 12.5%;">⑪</td><td style="width: 12.5%;">⑫</td><td style="width: 12.5%;">⑬</td><td style="width: 12.5%;">⑭</td><td style="width: 12.5%;">⑮</td><td style="width: 12.5%;">⑯</td><td style="width: 12.5%;">⑰</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>										①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰			○															
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰																												
		○																																										
事業のコスト (単位:千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)																																			
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源																																				
30決算		0	0	0	0	0	0	0	正規	0.30	アルバイト	0.00																																
01当初予算		0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00																																
01決算		0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.20	合計	0.50																																
02当初予算		2,140	2,970	5,110	1,070	0	0	4,040																																				
令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額																																					
						需用費	印刷製本費	40																																				
						委託料	抗体検査委託料	2,000																																				
						扶助費	償還払い用(市外受診者等)	100																																				
合計			0	合計			2,140																																					

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-001	事務事業名	風しん対策事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	先天性風しん症候群 (CRS)発生届出数	「感染症法に基づく発生届出」報告数より				0	0
		令和2年度	人	0			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
先天性風しん症候群 (CRS)の発生をなくすため、妊娠を希望する女性や妊婦の同居家族を対象として、今後も継続して実施する。						



## 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名 肝炎対策事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145302000 - 002											
		分割/統合														
関連 予算 科目	会計	一般会計														
	款	衛生費														
	項	保健衛生費														
	目	予防費														
	事業	肝炎対策事業														
施策分野		1 健康・福祉分野														
		1-6 健康づくりの推進														
個別計画		新あかし健康プラン21														
		事業所管課	感染対策局あかし保健所保健予防課													
		連絡先	(078)918-5668													
		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度											
		根拠法令・要綱等	健康増進法19条、兵庫県肝炎ウイルス陽性者初回精密検査費・定期検査費助成事業実施要綱、兵庫県肝炎治療特別促進事業実施要綱、兵庫県がん・重度肝硬変治療研究促進事業実施要綱													
			実施方法	直営	補助・助成	その他										
			委託	○	指定管理											
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	実施年度末40歳以上の市民で、過去に肝炎ウイルス検診を受診していない人を対象に肝炎ウイルス検診を実施し、陽性者には精密検査費及び治療費の助成等の案内を行い、肝炎の発病や重症化を予防する。															
	成果指標															
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値									
	受診率	受診率＝受診者数／対象者数×100			令和2年度	%	7.9									
事業内容	(肝炎ウイルス検診)															
	①検査項目＜HCV抗体検査、HCV抗原検査、HCV核酸増幅検査、HBs抗原検査＞を実施。医師から結果説明・事後指導を実施。															
	②明石市医師会及び兵庫県厚生農業協同組合連合会に委託。															
	③各医療機関で通年実施。市内123医療機関で実施。その他保健所やコミセン等で実施。															
	④自己負担額・・・C型+B型1,200円、C型のみ900円、B型のみ800円															
	※ただし、70歳以上、生活保護世帯、世帯全員が市民税非課税、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持っている場合は無料。															
	★個人勸奨した5歳刻みの年齢対象者は、自己負担額は無料。(自己負担相当額10/10の国庫補助金を受けることができる。)															
	⑤受診者数等															
	平成30年度(実績) 29,233人(対象者数) 1,575人(受診者数) 5.4%(受診率)															
	令和元年度(実績) 29,233人(対象者数) 1,490人(受診者数) 5.1%(受診率)															
令和2年度(見込) 29,233人(対象者数) 2,300人(受診者数) 7.9%(受診率)																
※対象者＝40歳以上の市町村人口(H27国勢調査)×26%(基本健診(特定・後期・一般)の対象者率)×65%(国の未受診者率)																
※受診者数(見込)＝過去3年間の平均受診者数																
(肝炎検査費等助成事業)																
①肝炎検査費用助成・・・肝炎ウイルス検査陽性者の初回及び定期精密検査費の助成における進達事務。																
平成30年度(実績) 初回精密検査 2件 定期検査 3件																
令和元年度(実績) 初回精密検査 1件 定期検査 5件																
②肝炎治療助成事業・・・B型・C型肝炎治療にかかる医療費の助成における進達事務。																
平成30年度(実績) 388件																
令和元年度(実績) 389件																
③がん・重度肝硬変治療研究促進事業・・・がん及び重度肝硬変にかかる入院治療費の助成における進達事務。																
平成30年度(実績) 0件																
令和元年度(実績) 1件																
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		8,192	4,860	13,052	5,718	0	0	7,334								
01当初予算		17,640	6,480	24,120	12,444	0	0	11,676	正規	0.30	アハハハ	0.00				
01決算		8,930	6,480	15,410	6,644	0	0	8,766	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		14,060	3,510	17,570	10,035	0	0	7,535	任期付	0.40	合計	0.70				
令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容		金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額							
	需用費	問診票等印刷製本費		384		需用費	問診票等印刷製本費		460							
	委託料	検査委託料		8,546		委託料	検査委託料		13,600							
	合計		8,930		合計		14,060									

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-002	事務事業名	肝炎対策事業		
------	----------------	-------	--------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	受診率	受診率=受診者数/対象者数×100			5.4	4.9	7.9
		令和2年度	%	7.9			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
現状の課題・今後の事業展開方針等					
ウイルス性肝炎は治療が発達し、重症化の予防だけでなく、C型では完治も可能となっていることから、早期発見、早期治療に繋げるため、検診受診率の向上に努める。また、検診の結果、陽性と判定された方へ精密検査の受診勧奨等を行うなど、フォローアップの強化を図る。					

# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	法定予防接種事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145302000 - 003		
		分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	<b>款</b>	衛生費					
	<b>項</b>	保健衛生費					
	<b>目</b>	予防費					
	<b>事業</b>	法定予防接種事業					
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野	事業所管課	感染対策局あかし保健所保健予防課				
	1-5 地域医療の充実						
<b>個別計画</b>		連絡先	(078)918-5668				
<b>実施方法</b>		自治/法定	自治+法定		開始年度	昭和 26 年度	
			根拠法令・要綱等	予防接種法			
<b>実施方法</b>		直営			補助・助成	○	その他
		委託	○	指定管理			

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	予防接種法に基づき、インフルエンザ・肺炎球菌・風しん（抗体検査で陰性を確認後）予防接種を実施することにより、疾病の発生及びまん延を予防し、健康の保持に寄与することを目的とする。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	高齢者インフルエンザ接種率	接種者数／対象者数	令和2年度	%	48.2
高齢者肺炎球菌接種率	接種者数／対象者数	令和2年度	%	41.7	
<b>事業内容</b>	予防接種法に基づく法定接種を個別接種で実施。個別勧奨通知やリーフレットの配布など接種率の向上に努めている。 ●高齢者インフルエンザ（年1回） 対象者：①65歳以上の明石市民 ②満60歳以上65歳未満の明石市民で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有し、身体障害者手帳1級相当の方 自己負担額：1,500円（ただし市民税非課税世帯、生活保護世帯の場合は、無料） 委託先：明石市医師会（市内165医療機関）ほか 平成30年度（実績）対象者数 77,677人 接種者数 37,926人 接種率 48.8% 令和元年度（実績）対象者数 78,479人 接種者数 40,143人 接種率 51.2% 令和2年度（見込）対象者数 79,219人 接種者数 38,183人 接種率 48.2%				
	●高齢者肺炎球菌（生涯1回） 対象者：①65歳以上で年度内に5歳刻みの年齢に達する明石市民※令和元年度のみ平成31年3月31日時点で100歳以上の者も対象 ②満60歳以上65歳未満の明石市民で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有し、身体障害者手帳1級相当の方。※①②とも、自費接種を含め、過去に接種歴がない者のみ対象。令和2年度は、令和元年度対象者のうち、接種を確認できなかった6,838人に令和3年3月末までの延長対応を行う。 自己負担額：4,000円（ただし市民税非課税世帯、生活保護世帯の場合は、無料） 委託先：明石市医師会（市内140医療機関）ほか 平成30年度（実績）対象者数 17,232人 接種者数 7,149人 接種率 41.5% 令和元年度（実績）対象者数 9,948人 接種者数 2,658人 接種率 26.7% 令和2年度（見込）対象者数 10,128人 接種者数 4,223人 接種率 41.7%				
	●風しん第5期定期接種（抗体検査・予防接種）＜令和元年度より事業開始＞（生涯1回） 対象者：【抗体検査】昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性 【予防接種】抗体検査の結果、抗体価が低い方 自己負担額：無料 委託先：全国知事会と日本医師会との集合契約により実施 令和元年度（実績）対象者数 38,281人 抗体検査受診者数 4,182人 予防接種者数 1,037人 令和2年度（見込）対象者数 38,100人 抗体検査受診者数 4,200人 予防接種者数 1,050人				
	SDGs(17の目標) ① ② ③ ○ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰				

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	170,435	7,155	177,590	2,945	0	0	174,645	正規	0.30	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00
01当初予算	202,620	7,155	209,775	8,500	0	0	201,275	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	206,981	7,155	214,136	18,164	0	0	195,972	任期付	0.40	合計	0.70
02当初予算	230,447	3,510	233,957	31,300	0	0	202,657				

令和元年度 決算事業費 明細	区分（節）	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	予診票等印刷製本費	1,766		需用費	予診票等印刷製本費	1,020
役務費	郵送料	3,100	役務費	郵送料	2,027		
委託料	各医師会等への委託料	201,475	委託料	各医師会等への委託料	225,700		
扶助費	償還払い用（県外接種者等）	640	扶助費	償還払い用（県外接種者等）	1,700		
	<b>合計</b>		206,981		<b>合計</b>	230,447	

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-003	事務事業名	法定予防接種事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	高齢者インフルエンザ接種率	接種者数／対象者数			48.8	51.2	48.2
		令和2年度	%	48.2			
	高齢者肺炎球菌接種率	接種者数／対象者数			41.5	26.7	41.7
		令和2年度	%	41.7			
<b>指標で表せない成果</b>							
集団予防を目的に行うA類疾病の予防接種(主に麻疹、BCGなどの小児の予防接種)に対し、B類疾病は、個人の発病・重症化防止目的で行うもので、自らの意志と責任で接種を希望する場合にのみ接種を行う。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
法に基づき市が実施しなければならない成人向けの法定予防接種は、高齢者人口の増加や風しん第5期定期接種の開始に伴い、事業費が増加しているが、肺炎などの発病防止や重症化予防に有効なため、一人でも多くの方に接種してもらえるよう引き続き安定した事業運営に努める。						

## 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b> 予防接種一般事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145302000 - 004				
		分割/統合							
<b>関連 予算 科目</b>	会計	一般会計							
	款	衛生費							
	項	保健衛生費							
	目	予防費							
	事業	予防接種一般事務事業							
<b>施策分野</b>		1 健康・福祉分野							
		1-5 地域医療の充実							
<b>個別計画</b>		事業所管課		感染対策局あかし保健所保健予防課					
<b>実施方法</b>		連絡先		(078)918-5668					
		自治/法定		自治+法定		開始年度		不明	
<b>根拠法令・要綱等</b>		予防接種法、明石市法定外予防接種事故災害補償規則、明石市予防接種健康被害調査委員会設置要綱							
		実施方法		直営	補助・助成		その他		
<b>個別計画</b>		委託		○	指定管理				

  

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	予防接種法に基づく法定接種、市の行政措置接種などすべての予防接種を適正かつ円滑に施行するため、予防接種による健康被害対策に関連する事務などを取り扱う。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	委員会開催	予防接種健康被害調査委員会を開催した回数	令和2年度	回	0

  

<b>事業内容</b>	予防接種法に基づく法定接種、市の行政措置接種などすべての予防接種に共通する事業として、予防接種による健康被害対策に関連する事務などを取り扱う。 ①予防接種健康被害調査委員会の庶務（健康被害発生時に開催 令和元年度は、平成29年度中に発生した健康被害疑いに対し、1回開催済） ②予防接種健康被害給付に関する事務処理 ③予防接種に関する研修への参加、3市2町連絡調整会議への参加 ④予防接種に関する賠償保険等の申請手続き ⑤その他集団での予防接種が必要になった時の準備				
	SDGs(17の目標)				
	①	②	③	④	⑤
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

  

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
30決算	143	810	953	0	0	0	953						
01当初予算	440	810	1,250	0	0	0	1,250	正規	0.10	アルバイト	0.00		
01決算	1,469	810	2,279	1,025	0	0	1,254	再任用	0.00	その他	0.00		
02当初予算	520	1,350	1,870	0	0	0	1,870	任期付	0.20	合計	0.30		

  

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	予防接種健康被害調査委員会報償費		40		報償費
	旅費	研修会等旅費	3		旅費	研修会等旅費	39
	需用費	消耗品費、印刷製本費、食糧費	103		需用費	消耗品費、印刷製本費、食糧費	342
	負担金補助及び交付金	予防接種健康被害給付事業	1,323				
	<b>合計</b>		1,469		<b>合計</b>		520

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-004	事務事業名	予防接種一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	委員会開催	予防接種健康被害調査委員会を開催した回数			0	1	0
		令和2年度	回	0			
<b>指標で表せない成果</b>							
予防接種は感染症の発生及びまん延を防止するという公共目的のために実施しているが、極めてまれに不可避免的な重篤な副反応を生じる場合がある。予防接種による健康被害の救済制度は、予防接種制度に対する信頼性を高め、自発的な接種を推進することで、接種率を高めることを目的に設けられており、常に円滑に実施することが求められる。令和元年度には、平成29年度に発生した健康被害に対して、調査委員会の開催や国への申請等の事務手続きを円滑に行った。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）				
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
健康被害の発生時に迅速かつ適切に対応できるよう、引き続き円滑な事業運営に努める。					

## 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		高齢者肺炎球菌予防接種助成事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145302000 - 005									
				分割/統合												
関連 予算 科目 目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容												
	款	衛生費		事業所管課	感染対策局あかし保健所保健予防課											
	項	保健衛生費		連絡先	(078)918-5668											
	目	予防費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 21 年度									
	事業	高齢者肺炎球菌予防接種助成事業		根拠法令 ・要綱等	明石市肺炎球菌予防接種費用助成事業実施要綱											
施策分野		1 健康・福祉分野		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>	その他							
		1-5 地域医療の充実			委託	<input type="radio"/>	指定管理									
個別計画																
事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	65歳以上の市民で過去の肺炎球菌ワクチン接種から5年以上経過しており、かつ医師が必要と認めた者を対象に再接種に係る費用を助成し、肺炎の重症化を予防する。															
	成果指標															
	指標名		考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値								
接種者数		当該年度の接種者数			令和2年度	人	1854									
事業 内容	●明石市高齢者肺炎球菌ワクチン再接種費用助成制度															
	①対象者：65歳以上の市民でこれまでに肺炎球菌ワクチンを受けたことがあり前回の接種から5年以上経過しており、かつ疾病などにより医師が再接種を必要と認めた者。															
	②助成金額：予防接種に要した額、または明石市が定める額のいずれか低い額から4,000円を除いた額。ただし市民税非課税世帯、生活保護世帯の場合は、予防接種に要した額又は明石市の定める額のいずれか低い額。															
	③助成方法：全額自己負担で接種し、接種後助成金を請求（償還払い方式）															
	④事業開始日：平成26年10月1日～															
	⑤接種者数															
	平成30年度（実績） 対象者数 2,156人 接種者数 593人 接種率 27.5%															
	令和元年度（実績） 対象者数 7,139人 接種者数 605人 接種率 8.5%															
	令和2年度（見込） 対象者数 11,962人 接種者数 1,854人 接種率 15.5%															
	※令和2年度（見込）対象者数＝平成27年度高齢者肺炎球菌（法定）接種者数 ＋令和元年度未接種者数（※令和元年度対象者数-令和元年度接種者数）															
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		3,004	3,105	6,109	0	0	0	6,109								
01当初予算		13,030	3,105	16,135	0	0	0	16,135	正規	0.30	アルバイト	0.00				
01決算		3,099	3,105	6,204	0	0	0	6,204	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		10,030	3,510	13,540	0	0	0	13,540	任期付	0.40	合計	0.70				
令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容		金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額							
	需用費	印刷製本費		0		需用費	印刷製本費		30							
	扶助費	肺炎球菌ワクチン再接種費用助成金交付請求(償還払い)		3,099		扶助費	肺炎球菌ワクチン再接種費用助成金交付請求(償還払い)		10,000							
合計				3,099	合計				10,030							

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-005	事務事業名	高齢者肺炎球菌予防接種助成事業
------	----------------	-------	-----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	接種者数	当該年度の接種者数			593	605	1,854
		令和2年度	人	1854			
<b>指標で表せない成果</b>							
「肺炎球菌ワクチン」は肺炎による入院や死亡の減少効果が認められており、基礎疾患のため肺炎にかかると重症化する恐れが高いと医師が判断した方を対象に実施している。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
肺炎球菌予防接種は、重症化予防に有効であり、肺炎による死亡者数の減少に繋がることから、今後も継続的に実施する。						



## 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b> 歯周病検診事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145302000 - 006			
		分割/統合						
		事業の分割/統合の内容						
<b>関連 予算 科目 目</b>	会計	一般会計						
	款	衛生費						
	項	保健衛生費						
	目	予防費						
	事業	歯周病検診事業						
<b>施策分野</b>		1 健康・福祉分野						
		1-6 健康づくりの推進						
<b>個別計画</b>		根拠法令・要綱等		健康増進法19条				
		実施方法		直営	補助・助成	その他		
		委託	○	指定管理				

  

<b>事業の 目的・ 目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	4月1日現在、40歳・50歳・60歳・70歳の市民を対象に歯周病検診を受けることで、歯の喪失を予防し、口腔の健康を維持することを目的とする。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
受診率	受診率＝受診者数／対象者数 ※対象者数＝当該年度4月1日現在、40、50、60、70歳の市民	令和2年度	%	5	

  

<b>事業 内容</b>	①検査項目＜歯周病検査の実施と、結果説明・歯科指導＞				
	②明石市歯科医師会に委託。				
	③個別健診：各医療機関で6月～3月に実施。市内117医療機関で実施。				
	④自己負担額・・・1,300円 ※ただし、70歳、生活保護世帯、世帯全員が市民税非課税、および身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持っている場合は無料。				
	⑤受診者数等 平成30年度(実績) 16,783人(対象者数) 703人(受診者数) 4.2%(受診率) 令和元年度(実績) 17,092人( " ) 685人( " ) 4.0%( " ) 令和2年度(見込) 16,479人( " ) 824人( " ) 5.0%( " ) ※対象者数＝当該年度4月1日現在の住基人口 ※令和2年度についてはR2.4.1時点の対象者を基に見込む。				
	⑥6月に対象者全員に受診券を送付し、翌年3月までに受診する。				

  

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

  

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	2,997	5,130	8,127	2,800	0	0	5,327	正規	0.00	アルバイト	0.00
01当初予算	4,700	5,130	9,830	3,133	0	0	6,697	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	4,011	5,130	9,141	2,863	0	0	6,278	任期付	0.20	合計	0.20
02当初予算	5,470	540	6,010	3,646	0	0	2,364				

  

<b>令和元年度 決算事業費 明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>令和2年度 当初予算 事業費 明細</b>	区分(節)	内容	金額	
	需用費	問診票等印刷製本費	310		需用費	問診票等印刷製本費	570	
	役務費	受診券郵送料	990		役務費	受診券郵送料	1,500	
	委託料	検査委託料、受診券圧着加工委託料	2,711		委託料	検査委託料、受診券圧着加工委託料	3,400	
	<b>合計</b>				4,011	<b>合計</b>		5,470

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-006	事務事業名	歯周病検診事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	受診率	受診率＝受診者数／対象者数 ※対象者数＝当該年度4月1日現在、40、50、60、70歳の市民			4.2	4	5
		令和2年度	%	5			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>受診率は低迷しているが、高齢化の進む中、検診により生活習慣病の発症予防や重症化予防に繋がりを、健康増進を図る上で有効である。今後、関係課と連携し、受診率向上を図る。</p>						

## 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		健康診査事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145302000 - 007										
				分割/統合													
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容													
	款	衛生費		事業所管課	感染対策局あかし保健所保健予防課												
	項	保健衛生費		連絡先	(078)918-5668												
	目	予防費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度										
	事業	健康診査事業		根拠法令 ・要綱等	健康増進法 19条												
施策分野		1 健康・福祉分野		実施方法	直営		補助・助成		その他								
		1-6 健康づくりの推進			委託	○	指定管理										
個別計画		新あかし健康プラン21															
事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）																
	実施年度末40歳以上で医療保険に加入していない市民について健康診査の実施により生活習慣病の早期発見、早期治療に努め、心身の健康の保持増進と医療費の適正化につなげる。																
	成果指標																
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値										
	受診率	受診率＝受診者数/生活保護受給者または中国残留邦人で医療扶助をうけているもの×100			令和2年度	%	3.6										
事業 内容	①問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、医師の診察を実施。																
	②明石市医師会に委託。																
	③5月に生活福祉課を通して、健診の案内チラシを送付。受診を希望する場合は生活福祉課を通して申込みをする。																
	④個別健診：各医療機関で通年実施。市内108医療機関で実施。 集団健診：あかし保健所、地域のコミセン、ホテル、大型スーパーなどで実施。																
	⑤受診率																
	平成29年度(実績) 4,231人(対象者数) 87人(受診者数) 2.1%(受診率) 平成30年度( ) 4,087人( ) 81人( ) 2.0%( ) 令和元年度( ) 4,181人( ) 183人( ) 4.4%( ) 令和2年度(見込) 4,128人( ) 149人( ) 3.6%( )																
SDGs(17の目標)																	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
			○														
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)								
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源									
30決算		642	2,700	3,342	422	0	0	2,920	正規	0.00	アルバイト	0.00					
01当初予算		1,260	2,700	3,960	840	0	0	3,120	再任用	0.00	その他	0.00					
01決算		1,476	2,700	4,176	974	0	0	3,202	任期付	0.30	合計	0.30					
02当初予算		1,260	810	2,070	840	0	0	1,230									
令和元 年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額	令和 2年 度 当 初 予 算 事 業 費 明 細	区分(節)	内容		金額								
	委託料	健診委託料		1,476		委託料	健診委託料		1,260								
	合計		1,476			合計		1,260									

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-007	事務事業名	健康診査事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	受診率	受診率＝受診者数/生活保護受給者または中国残留邦人で医療扶助をうけているもの×100			2	4	3.6
		令和2年度	%	3.6			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
生活習慣病の早期発見、早期治療により、健康の保持増進を図るため、生活福祉課と連携し、受診率の向上に努めるとともに、必要な方への保健指導を行う。						

# 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		がん検診事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145302000 - 008																																																																																										
		他 1 事業		分割/統合																																																																																													
関連予算科目	会計	一般会計		事業所管課	感染対策局あかし保健所保健予防課																																																																																												
	款	衛生費		連絡先	(078)918-5668																																																																																												
	項	保健衛生費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 4 年度																																																																																										
	目	予防費		根拠法令・要綱等	健康増進法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、石綿(アスベスト)健康管理支援事業実施要綱																																																																																												
	事業	がん検診事業		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>	その他																																																																																								
施策分野		1 健康・福祉分野																																																																																															
		1-6 健康づくりの推進																																																																																															
個別計画		新あかし健康プラン21		委託	<input type="radio"/>	指定管理																																																																																											
<b>事業の目的・目標</b> 目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか) 実施年度末40歳以上の市民を対象にがんの早期発見、早期治療を推進することにより、がん死亡率の減少を目的とする。 ※胸部検診については、がん、結核およびアスベストを原因とする疾患。 ※子宮がん検診については20歳以上。																																																																																																	
<b>成果指標</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>考え方・定義・式</th> <th>目標年次</th> <th>単位</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診率 (胃がんリスク以外)</td> <td>受診率=受診者数(乳、子宮は2年度)/対象者数×100 ※対象者=市町村人口-就業者数+農林水産業従事者</td> <td>令和2年度</td> <td>%</td> <td>25 (子宮がん:30)</td> </tr> <tr> <td>新規対象者受診率 (胃がんリスク)</td> <td>新規対象者受診率=受診者数/対象者数×100 ※新規対象者=40歳住民基本台帳人口</td> <td>令和2年度</td> <td>%</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>									指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値	受診率 (胃がんリスク以外)	受診率=受診者数(乳、子宮は2年度)/対象者数×100 ※対象者=市町村人口-就業者数+農林水産業従事者	令和2年度	%	25 (子宮がん:30)	新規対象者受診率 (胃がんリスク)	新規対象者受診率=受診者数/対象者数×100 ※新規対象者=40歳住民基本台帳人口	令和2年度	%	10																																																																										
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値																																																																																													
受診率 (胃がんリスク以外)	受診率=受診者数(乳、子宮は2年度)/対象者数×100 ※対象者=市町村人口-就業者数+農林水産業従事者	令和2年度	%	25 (子宮がん:30)																																																																																													
新規対象者受診率 (胃がんリスク)	新規対象者受診率=受診者数/対象者数×100 ※新規対象者=40歳住民基本台帳人口	令和2年度	%	10																																																																																													
<b>事業内容</b> ①がん検診の種類 (1)大腸がん検診…免疫便潜血検査2日法 (2)胸部検診…X線直接撮影及び喀痰検査。また希望者にアスベスト健診も実施。 ※集団検診でのみ実施。 (3)胃がんリスク検診…ヘリコバクターピロリ抗体検査およびペプシノゲン検査[5年度に1回、過去要精検者は受診不可] (4)乳がん検診…マンモグラフィ[2年度に1回] (5)子宮がん検診…頸部細胞診(及び体部細胞診)[2年度に1回] ②明石市医師会および兵庫県厚生農業協同組合連合会(1)、(3)のみに委託。 ③【個別検診】医療機関(市内115箇所)で通年実施。【集団検診】あかし保健所やコミュニティ・センター等で年間約100回実施。【胸部巡回検診】地域の自治会館等で年間約120回実施 ※胸部検診については、令和元年度より集団検診でのみ実施。これまで個別検診で受診していた者の受診機会確保のため、令和2年度はあかし保健所での直営検診も実施。 ④「要精密検査」と判定された人に精密検査の受診勧奨を行うとともに、結果を把握し、精度管理を行う。 ⑤自己負担額 (1)大腸がん検診…1,000円(集団検診時は900円) (2)胸部検診…500円(喀痰検査追加時は計1,000円) (3)胃がんリスク検診…1,500円 (4)乳がん検診…40歳代2,800円/50歳代以上2,200円 (5)子宮がん検診…1,400円(体部細胞診追加時は計2,200円) ⑥受診者数等 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象者</th> <th colspan="3">大腸</th> <th colspan="3">胸部</th> <th colspan="3">胃がん</th> <th colspan="3">乳</th> <th colspan="3">子宮</th> <th colspan="2">アスベスト</th> </tr> <tr> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> <th>受診者</th> <th>要精検者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H30実績)</td> <td>92,707人</td> <td>13,162人</td> <td>14.2%</td> <td>92,707人</td> <td>14,258人</td> <td>15.4%</td> <td>92,707人</td> <td>3,758人</td> <td>4.1%</td> <td>57,868人</td> <td>8,872人</td> <td>15.3%</td> <td>71,117人</td> <td>9,998人</td> <td>14.1%</td> <td>31人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>(R01実績)</td> <td>92,707人</td> <td>10,677人</td> <td>11.5%</td> <td>92,707人</td> <td>8,298人</td> <td>9.0%</td> <td>92,707人</td> <td>2,631人</td> <td>2.8%</td> <td>57,868人</td> <td>8,366人</td> <td>14.5%</td> <td>71,117人</td> <td>9,316人</td> <td>13.1%</td> <td>15人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>(R02見込)</td> <td>92,707人</td> <td>16,409人</td> <td>17.7%</td> <td>92,707人</td> <td>12,000人</td> <td>12.9%</td> <td>92,707人</td> <td>5,006人</td> <td>5.4%</td> <td>57,868人</td> <td>9,487人</td> <td>16.4%</td> <td>71,117人</td> <td>10,649人</td> <td>15.0%</td> <td>36人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> ⑦年度当初時点の年齢が40歳の女性には乳がん検診無料クーポン、20歳の女性には子宮がん検診(頸部)無料クーポンを送付し受診勧奨を行う。 ⑧胸部検診実施時、希望者にはアスベスト健診を実施。「要精検」と判定され、精密検査の結果「経過観察」が必要と認められた人について、本人からの申請に基づき、1年に2回を限度に精密検査費用の助成(償還払い)を行う。									対象者	大腸			胸部			胃がん			乳			子宮			アスベスト		対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	受診者	要精検者	(H30実績)	92,707人	13,162人	14.2%	92,707人	14,258人	15.4%	92,707人	3,758人	4.1%	57,868人	8,872人	15.3%	71,117人	9,998人	14.1%	31人	2人	(R01実績)	92,707人	10,677人	11.5%	92,707人	8,298人	9.0%	92,707人	2,631人	2.8%	57,868人	8,366人	14.5%	71,117人	9,316人	13.1%	15人	2人	(R02見込)	92,707人	16,409人	17.7%	92,707人	12,000人	12.9%	92,707人	5,006人	5.4%	57,868人	9,487人	16.4%	71,117人	10,649人	15.0%	36人	5人
対象者	大腸			胸部			胃がん			乳			子宮			アスベスト																																																																																	
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	受診者	要精検者																																																																																
(H30実績)	92,707人	13,162人	14.2%	92,707人	14,258人	15.4%	92,707人	3,758人	4.1%	57,868人	8,872人	15.3%	71,117人	9,998人	14.1%	31人	2人																																																																																
(R01実績)	92,707人	10,677人	11.5%	92,707人	8,298人	9.0%	92,707人	2,631人	2.8%	57,868人	8,366人	14.5%	71,117人	9,316人	13.1%	15人	2人																																																																																
(R02見込)	92,707人	16,409人	17.7%	92,707人	12,000人	12.9%	92,707人	5,006人	5.4%	57,868人	9,487人	16.4%	71,117人	10,649人	15.0%	36人	5人																																																																																
SDGs(17の目標)																																																																																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;">①</td> <td style="width: 12.5%;">②</td> <td style="width: 12.5%;">③</td> <td style="width: 12.5%;">④</td> <td style="width: 12.5%;">⑤</td> <td style="width: 12.5%;">⑥</td> <td style="width: 12.5%;">⑦</td> <td style="width: 12.5%;">⑧</td> <td style="width: 12.5%;">⑨</td> <td style="width: 12.5%;">⑩</td> <td style="width: 12.5%;">⑪</td> <td style="width: 12.5%;">⑫</td> <td style="width: 12.5%;">⑬</td> <td style="width: 12.5%;">⑭</td> <td style="width: 12.5%;">⑮</td> <td style="width: 12.5%;">⑯</td> <td style="width: 12.5%;">⑰</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰			○																																																																					
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰																																																																																	
		○																																																																																															
事業のコスト(単位:千円)		事業費	人件費(参考値)	総事業費(参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)																																																																																								
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源																																																																																									
30決算		173,286	20,790	194,076	727	0	0	193,349	正規	1.20	アハバ	0.00																																																																																					
01当初予算		197,056	20,790	217,846	1,434	0	9	216,403	再任用	0.00	その他	0.10																																																																																					
01決算		135,000	20,790	155,790	1,333	0	3	154,454	任期付	2.50	合計	3.80																																																																																					
02当初予算		194,892	16,750	211,642	2,434	0	7	209,201																																																																																									
令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容		金額	区分(節)	内容		金額																																																																																									
	旅費	研修旅費等		17	令和2年度当初予算事業費明細	旅費		80																																																																																									
	需用費	消耗品費(事務用品等)、印刷製本費(問診票、健診だより)等		2,163	需用費	消耗品費(事務用品等)、印刷製本費(問診票、健診だより)等		4,335																																																																																									
	役務費	健診費用助成券郵送料、日々雇用者傷害保険料		448	役務費	健診費用助成券郵送料、日々雇用者傷害保険料		1,001																																																																																									
	委託料	検査委託料、健診費用助成券作成封入封緘委託料等		129,449	委託料	検査委託料、健診費用助成券作成封入封緘委託料		189,350																																																																																									
	備品購入費	X線撮影装置連続撮影オプション一式等		2,900	備品購入費	胸部巡回検診用テント		50																																																																																									
	その他	扶助費(アスベスト健診費用助成)		23	その他	負担金(研修会参加)、扶助費(アスベスト健診費用助成)		76																																																																																									
合計				135,000	合計		194,892																																																																																										

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-008	事務事業名	がん検診事業	他 1 事業
------	----------------	-------	--------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	受診率 (胃がんリスク以外)	受診率＝受診者数(乳、子宮は2年度)／対象者数×100 ※対象者＝市町村人口－就業者数＋農林水産業従事者			大腸：14.2 胸部：15.4 乳：15.3 子宮：14.1	大腸：11.5 胸部：9.0 乳：14.5 子宮：13.1	大腸：17.7 胸部：12.9 乳：16.4 子宮：15.0
		令和2年度	%	25 (子宮がん:30)			
	新規対象者受診率 (胃がんリスク)	新規対象者受診率＝受診者数／対象者数×100 ※新規対象者＝40歳住民基本台帳人口			7.3	5.5	10.0
		令和2年度	%	10			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
限られた財源で、より効果的に施策を推進するため、費用対効果を検証しながら受診率向上等の各種施策を実施するとともに、検診の結果、精密検査が必要とされた方のフォローアップを引き続き強化していく。						

## 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名 保健一般事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145302000 - 009													
		分割/統合																
関連 予算 科目 目	会計	一般会計																
	款	衛生費																
	項	保健衛生費																
	目	保健所費																
	事業	保健一般事務事業																
施策分野		事業の分割/ 統合の内容		事業所管課 感染対策局あかし保健所保健予防課														
		連絡先		078-918-5668														
個別計画		自治/法定		自治事務		開始年度	平成 31 年度											
		根拠法令・要綱等																
実施方法		直営	○	補助・助成														
		委託		指定管理														
事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）																	
	課内での必要な事務用品等の補充や、災害時における救護用品の調達を行うとともに、課全体の運営に係る経費を管理し、より快適な職場環境の実現を目指す。																	
	成果指標																	
指標名		考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値											
事業 内容	①石綿健康被害救済制度担当者説明会への出席に関する旅費。 ②事務用品等の購入、管理。 ③災害発生時の救護所設置等で使用する医薬材料(救急箱資材)の補充、交換。 ④複合機の管理、使用料の支払い。																	
	SDGs(17の目標)																	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
			○															
	事業のコスト (単位:千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)								
						国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源									
	30決算		404	0	404	0	0	0	404	正規	0.50	アルバイト	0.00					
	01当初予算		1,604	1,400	3,004	0	0	0	3,004	再任用	0.00	その他	0.00					
	01決算		1,367	1,400	2,767	0	0	0	2,767	任期付	0.30	合計	0.80					
	02当初予算		1,824	4,860	6,684	0	0	0	6,684									
令和元 年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額	令和 2年 度 当 初 予 算 事 業 費 明 細	区分(節)	内容		金額									
	旅費	石綿健康被害制度担当者説明会		0		旅費	石綿健康被害制度担当者説明会		4									
	需用費	事務用品、救急箱資材		791		需用費	事務用品、救急箱資材		1,160									
	使用料及び賃借料	コピー機使用料		576		使用料及び賃借料	コピー機使用料		660									
	合計					1,367	合計		1,824									

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-009	事務事業名	保健一般事務事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>令和元年度より新設の事業。保健予防課の全体的な事務的な物品の購入・管理等について、主に以下の内容で行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品等の購入、管理。</li> <li>・災害発生時の救護所設置等で使用する医薬材料(救急箱資材)の補充や使用期限が切れている医薬材料の交換。</li> <li>・保健所4階(保健予防課・生活衛生課・安全統括室・広報相談室)で使用している、複合機の管理、使用料の支払い、コピー用紙の管理、補充等。</li> </ul>						



# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	感染症対策事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145302000 - 010					
		分割/統合								
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>							
	<b>款</b>	衛生費		<b>事業所管課</b>	感染症対策局あかし保健所保健予防課					
	<b>項</b>	保健衛生費			<b>連絡先</b>	(078)918-5421				
	<b>目</b>	保健所費				<b>自治/法定</b>	自治+法定	開始年度	不明	
	<b>事業</b>	感染症対策事業					<b>根拠法令・要綱等</b>	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野	<b>実施方法</b>	直営					<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>
	1-5 地域医療の充実		委託	<input type="radio"/>				指定管理		
<b>個別計画</b>										

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	感染症の発生及び感染拡大を防止するため。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
結核罹患率	空気感染でまん延し、高齢者の発病が多い傾向にある結核の罹患率の減少	R2年度	率	10	
社会福祉施設等からの感染症集団発生報告	施設における感染対策が適切に実施され、インフルエンザ、感染性胃腸炎等のまん延防止ができる	R2年度	件	25	

◎感染症のまん延防止対策の実施 感染症の発生届を受けて、感染源確認、感染拡大防止のため患者調査や指導助言を行う。  
 ・感染症法第12条に基づく届出数【結核、結核以外、(合計)】H29: 69, 31(100) H30: 79, 81(160)、R1: 49, 77(126)、R2(見込み): 50, 120(170)  
 ・感染症PCR検査件数 H30: 24件、R1: コロナ60件、コロナ以外14件、R2(見込み): コロナ5,000件、コロナ以外20件  
 ・新型コロナウイルス感染症にかかる健康相談(帰国者・接触者相談センター)の実施。陽性者の対応・調査、濃厚接触者の対応・検査  
 ・患者移送や病原体に汚染された場所の消毒についての助言、害虫等の生息調査および駆除についてを検討する。  
 ・感染防止対策について関係者間の連携および啓発  
 市内医療機関、福祉施設、庁内関係課、関係団体等において感染対策に係るネットワークづくりの推進。感染防止に関する研修会の開催。  
 H30: 医療機関、高齢者施設ネットワーク会議主催研修会2回参加者105人、その他関係機関、高齢者施設等への健康教育47回、参加者1,619人。  
 R1: 医療機関、高齢者施設ネットワーク会議主催研修会2回参加者108人、その他健康教育42回参加者1,341人、R2(見込み): 300人  
 ・社会福祉施設等からの感染症集団発生報告(インフルエンザ、感染性胃腸炎) H30: 74件、R1: 29件、R2(見込み) 25件

◎結核対策の実施  
 ・【結核罹患率 全国、兵庫県、明石市】 H28: 13.9、15.3、11.6、H29: 13.3、15.9、18.2、H30: 12.3、15.1、16.5、R1: 市11.0、R2: 市10.0(見込み)  
 ・保健師による患者への服薬支援や、保健福祉施設等の接触者調査の実施。家庭訪問件数 H30: 487、R1: 451(見込み)、R2: 500(見込み)  
 ・高齢者施設や医療機関等に対し、結核の基礎知識及び対応についての研修会や出前講座の開催(新型コロナウイルス感染症の発生状況による)。  
 ・結核患者発生時の接触者健診の実施。接触者健診件数 H30: 325件、R1: 159件、R2(見込み): 220件  
 ・結核患者の医療費公費負担(入院、通院) H30: 11,741千円、R1(R円.3'R2.2診療分): 1,985千円、R2(見込み): 22,230千円  
 ・結核菌株遺伝子検査の実施(VNTR) 検査数 H30: 34件、R1: 18件、R2(見込み): 50件

◎エイズ等性感染症対策の実施  
 ・性感染症検査(HIV、梅毒、B型肝炎、C型肝炎)および相談の実施。H30: 検査回数(特例検査含む) 24回、220人、R1: 検査回数23回、201人、R2(見込み): 検査回数24回、185人  
 ・性感染症予防教育の学校等での実施状況実態把握と健康教育の実施。職員の資質向上研修 H30: 1回。子ども、保護者向け講座R1: 1回、中学生向け講座1回。R2: 新型コロナウイルス感染症のため実施見合わせ。  
 ・広報、SNS等での性感染症検査についてや世界エイズデーの周知、啓発。

SDGs(17の目標)																	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
		○															

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	25,164	61,020	86,184	18,206	1,700	29	66,249	正規	11.00	特別	0.00
01当初予算	48,598	65,120	113,718	25,786	0	35	87,897	再任用	0.00	その他	0.90
01決算	13,498	65,120	78,618	21,813	0	30	56,775	任期付	3.00	合計	14.90
02当初予算	41,196	99,720	140,916	20,763	0	34	120,119				

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	報酬		感染症診査協議会		1,027	報酬	
委託料		結核等感染症検査費、HIV等検査費、帰国者・接触者相談センター出務	2,296	委託料		結核等感染症検査費、検体検査委託費、患者移送、蚊等駆除経費	5,326
役務費		通信運搬費、支払手数料、検査手数料	3,275	役務費		通信運搬費、支払手数料、検査手数料	5,633
負担金補助及び交付金		感染症セミナー、学会負担金、結核定期健康診断補助金	983	負担金補助及び交付金		感染症セミナー、学会負担金、結核定期健康診断補助金	3,118
扶助費		結核入院等医療費	1,672	扶助費		結核入院等医療費	22,230
その他		報償費、旅費、需用費、使用料及び賃借料、備品購入費	4,245	その他		報償費、旅費、需用費、使用料及び賃借料	3,395
	合計		13,498		合計		41,196

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-010	事務事業名	感染症対策事業
------	----------------	-------	---------

	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
事業の成果	結核罹患率	空気感染でまん延し、高齢者の発病が多い傾向にある結核の罹患率の減少			16.8	11	10
		R2年度	率	10			
事業の成果	社会福祉施設等からの感染症集団発生報告件数	施設における感染対策が適切に実施され、インフルエンザ、感染性胃腸炎等のまん延防止ができる			47	29	25
		R2年度	件	25			
指標で表せない成果							

	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に結核罹患率は緩やかに減少しているが、明石市もR元年は減少となった。今後も罹患率減少を目指し、結核発生届受理時には、速やかに患者および接触者調査を実施し、患者に対して保健指導および確実な服薬支援を行い、感染拡大防止対策し、結核罹患率の減少を目指す。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症をはじめ、結核以外の感染症の発生も増加している。市民への啓発をはじめとし、庁内関係課、医療機関、福祉施設等と感染症予防、拡大防止について連携、情報共有を行い、市全体で感染症対策に取り組めるよう体制を整える。</li> <li>・地域全体で感染拡大を防止するため病院、福祉施設、関係機関等や既存のネットワークを活用し、感染拡大防止体制の構築を目指す。研修会の開催は新型コロナウイルス感染症の発生のため自粛するが、保健所と病院、施設、関係機関等とは個々に連携や情報共有、相談については継続して実施。</li> <li>・デング熱等の蚊媒介感染症が発生した際に、迅速に対応できるよう体制の維持、構築に努める。</li> <li>・HIV等の性感染症検査について周知を行うなど、引き続き市民が必要時検査を受けることができるよう体制を整備する。健康教育については自粛のため実施しない。</li> </ul>						

# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	特定健康診査・特定保健指導管理事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145302000 - 011				
		分割/統合							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	国民健康保険事業	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費	<b>事業所管課</b>	感染対策局あかし保健所保健予防課					
	<b>項</b>	総務管理費	<b>連絡先</b>	(078)918-5668					
	<b>目</b>	一般管理費	<b>自治/法定</b>	自治事務	開始年度	平成 20 年度			
	<b>事業</b>	特定健康診査・特定保健指導管理事務事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	高齢者の医療の確保に関する法律					
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野		<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>	その他	<input type="radio"/>
	1-6 健康づくりの推進			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="radio"/>		
<b>個別計画</b>	第3期特診・特保実施計画								

**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 40歳から74歳の国民健康保険加入者を対象に実施している特定健康診査・特定保健指導事業に必要な消耗品の購入、健診データの管理や助成券の作成などを行い、事業を円滑かつ効率的に実施する。また、メタボリックシンドロームの予防を効果的に行うため、保健指導従事者の確保及び質の向上を図る。

**成果指標**

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
特定健康診査受診率	受診者数÷対象者数×100 受診者数及び対象者数は、各年度の4月1日現在加入者で、且つ年度途中の脱退がない者	令和2年度	%	45
特定保健指導終了率	終了者数÷対象者数×100 特定健診受診者のうち、メタボリックシンドロームが疑われるものが対象	令和2年度	%	45

**事業内容**

○特定健康診査  
 ①検査項目<問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、医師の診察>を実施。健診結果を医療機関より直接説明。  
 ②明石市医師会及び兵庫県厚生農業協同組合連合会に委託。  
 ③各医療機関で通年実施。市内107医療機関(令和2年度)で実施。その他あかし保健所、市民センター・大型スーパーや地域のコミセン等で実施。  
 ④自己負担額・・・無料  
 ⑤受診者数等  
 平成30年度(法定報告) 42,533人(対象者数) 11,083人(受診者数) 26.1%(受診率)  
 令和元年度(実績) 41,352人( ) 10,577人( ) 25.6%( )  
 令和2年度(見込) 45,478人( ) 13,643人( ) 30%( )  
 ※令和2年度は予算要求資料より。

○特定保健指導  
 ①明石市医師会及び専門職に委託し、個別面接・電話等による6ヶ月以上の生活習慣改善支援を実施。  
 ②特定健康診査の結果、保健指導が必要となった人に対し、健診結果の説明と合わせて、特定保健指導を実施。今年度は把握できる結果(腹囲・体重・血圧・質問票の回答)をもとに健診会場にて特定保健指導の初回面接を実施。  
 ③市内指定医療機関、あかし保健所にて実施。  
 ④自己負担額・・・無料  
 ⑤終了者数等  
 平成30年度(法定報告) 1,238人(対象者数) 387人(終了者数) 31.3%(終了率)  
 令和元年度(実績) 1,282人( ) 381人( ) 29.7%( )  
 令和2年度(見込) 2,322人( ) 1,045人( ) 45.0%( )  
 ※令和2年度については第3期特定健診等実施計画より。

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	7,597	3,510	11,107	0	0	0	11,107	正規	0.20	ｱｷﾊﾞｲ	0.00
01当初予算	9,595	3,510	13,105	0	0	0	13,105	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	8,839	3,510	12,349	0	0	0	12,349	任期付	1.00	合計	1.20
02当初予算	9,595	4,320	13,915	0	0	0	13,915				

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費		特定保健指導研修会講師謝礼		0	報償費	
需用費		受診啓発リーフレット等	768	需用費		受診啓発リーフレット等	890
役務費		助成券郵送料等	2,500	役務費		助成券郵送料等	2,500
委託料		助成券封入封緘、特定健診データ管理等	5,478	委託料		助成券封入封緘、特定健診データ管理等	6,000
使用料及び賃借料		集団健診会場使用料	93	使用料及び賃借料		集団健診会場使用料	150
その他		旅費、負担金補助及び交付金負担金	0	その他		旅費、負担金補助及び交付金負担金	25
<b>合計</b>			8,839	<b>合計</b>			9,595

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-011	事務事業名	特定健康診査・特定保健指導管理事務事業
------	----------------	-------	---------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	特定健康診査受診率	$\text{受診者数} \div \text{対象者数} \times 100$ 受診者数及び対象者数は、各年度の4月1日現在加入者で、且つ年度途中の脱退がない者			26	26	30
		令和2年度	%	45			
	特定保健指導終了率	$\text{終了者数} \div \text{対象者数} \times 100$ 特定健診受診者のうち、メタボリックシンドロームが疑われるものが対象			31	30	45
		令和2年度	%	45			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
受診勧奨の強化や受診環境を整えるなど様々な取り組みを行っているが、特定健診の受診率・特定保健指導利用率は、兵庫県や明石市の目標値を達成できておらず、県下平均よりも低い状況である。今後も、市民の健康を増進するため、受診率、利用率の向上に努める。						

## 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		特定健康診査・特定保健指導事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145302000 - 012										
				分割/統合													
関連 予算 科目	会計	国民健康保険事業		事業の分割/ 統合の内容													
	款	保健事業費		事業所管課	感染対策局あかし保健所保健予防課												
	項	特定健康診査・特定保健指導事業費		連絡先	(078)918-5668												
	目	特定健康診査・特定保健指導事業費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度										
	事業	特定健康診査・特定保健指導事業		根拠法令・ 要綱等	高齢者の医療の確保に関する法律												
施策分野		1 健康・福祉分野		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>	その他	<input type="radio"/>							
		1-6 健康づくりの推進			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>							
個別計画		第3期特診・特保実施計画															
事業の 目的・ 目標	目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか)																
	40歳から74歳の国民健康保険加入者を対象に、特定健康診査を実施し、その結果に応じた特定保健指導を行うことにより、被保険者のメタボリックシンドローム対象者の減少を目指す。																
	成果指標																
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値										
	特定健康診査 受診率	受診者数÷対象者数×100 受診者数及び対象者数は、各年度の4月1日現在加入者で、 且つ年度途中の脱退がない者			令和2年度	%	45										
	特定保健指導 終了率	終了者数÷対象者数×100 特定健診受診者のうち、メタボリックシンドロームが疑われる ものが対象			令和2年度	%	45										
事業 内容	○特定健康診査																
	<p>①検査項目&lt;問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、医師の診察&gt;を実施。健診結果を医療機関より直接説明。</p> <p>②明石市医師会及び兵庫県厚生農業協同組合連合会に委託。</p> <p>③各医療機関で通年実施。市内107医療機関(令和2年度)で実施。その他あかし保健所、市民センター・大型スーパーや地域のコミセン等で実施。</p> <p>④自己負担額・・・無料</p> <p>⑤受診者数等</p> <p>平成30年度(法定報告) 42,533人(対象者数) 11,083人(受診者数) 26.1%(受診率)</p> <p>令和元年度(実績) 41,352人( ) 10,577人( ) 25.6%( )</p> <p>令和2年度(見込) 45,478人( ) 13,643人( ) 30%( )</p> <p>※令和2年度は予算要求資料より。</p>																
事業 内容	○特定保健指導																
	<p>①明石市医師会及び専門職に委託し、個別面接・電話等による6ヶ月以上の生活習慣改善支援を実施。</p> <p>②特定健康診査の結果、保健指導が必要となった人に対し、健診結果の説明と合わせて、特定保健指導を実施。今年度は把握できる結果(腹囲・体重・血圧・質問票の回答)をもとに健診会場にて特定保健指導の初回面接を実施。</p> <p>③市内指定医療機関、あかし保健所にて実施。</p> <p>④自己負担額・・・無料</p> <p>⑤終了者数等</p> <p>平成30年度(法定報告) 1,238人(対象者数) 387人(終了者数) 31.3%(終了率)</p> <p>令和元年度(実績) 1,282人( ) 381人( ) 29.7%( )</p> <p>令和2年度(見込) 2,322人( ) 1,045人( ) 45.0%( )</p> <p>※令和2年度については第3期特定健診等実施計画より。</p>																
SDGs(17の目標)																	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)
			○														
事業のコスト (単位:千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)								
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00	再任用	0.00	その他	1.00	
	30決算	95,710	11,610	107,320	72,476	0	23,234	11,610	任期付	1.10	合計	2.60					
	01当初予算	136,763	11,610	148,373	74,138	0	62,625	11,610									
	01決算	91,634	11,610	103,244	63,000	0	28,634	11,610									
	02当初予算	119,292	9,820	129,112	64,864	0	54,428	9,820									
令和 元 年 度 決 算 事 業 費 明 細	区分(節)	内容		金額	令和 2 年 度 当 初 予 算 事 業 費 明 細	区分(節)	内容		金額								
	委託料	特定健康診査・特定保健指導業 務委託料		91,634		委託料	特定健康診査・特定保健指導業 務委託料		119,292								
	合計		91,634		合計		119,292										

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-012	事務事業名	特定健康診査・特定保健指導事業
------	----------------	-------	-----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	特定健康診査受診率	受診者数÷対象者数×100 受診者数及び対象者数は、各年度の4月1日現在加入者で、且つ年度途中の脱退がない者			26	26	30
		令和2年度	%	45			
	特定保健指導終了率	終了者数÷対象者数×100 特定健診受診者のうち、メタボリックシンドロームが疑われるものが対象			31	30	45
		令和2年度	%	45			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>受診勧奨の強化や受診環境を整えるなど、様々な取り組みを行っているが、特定健診の受診率・特定保健指導利用率は、兵庫県や明石市の目標値を達成できておらず、県下平均よりも低い状況である。平成30年度からの「第2期データヘルス計画」「第3期特定健診・特定保健指導実施計画」では現状を分析したうえで策定した。第2期データヘルス計画に基づいて事業展開を行うことで、受診率の向上や医療費適正化を目指す。</p>						

## 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		後期高齢者健康診査事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145302000 - 013																																					
				分割/統合																																								
関連予算科目	会計	後期高齢者医療事業		事業の分割/統合の内容																																								
	款	保健事業費		事業所管課	感染対策局あかし保健所保健予防課																																							
	項	健康診査事業費		連絡先	(078)918-5668																																							
	目	健康診査事業費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度																																					
	事業	後期高齢者健康診査事業		根拠法令・要綱等	高齢者の医療の確保に関する法律																																							
施策分野		1 健康・福祉分野		実施方法	直営		補助・助成		その他																																			
		1-6 健康づくりの推進			委託	○	指定管理																																					
個別計画																																												
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）																																											
	後期高齢者医療制度に加入している人を対象に、健康診査や歯科健診を実施し、生活習慣病の早期発見や口腔機能低下の予防に努め、健康の保持増進と医療費の適正化につなげる。																																											
	成果指標																																											
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値																																					
受診率	受診率＝受診者数／対象者数×100 ※対象者＝3月末の後期高齢者医療毎月事業状況報告書における被保険者数			令和2年度	%	6																																						
<p>1 後期高齢者健康診査 ※令和2年度より生活習慣病治療中の者も対象</p> <p>①検査項目＜問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、医師の診察＞を実施。健診結果を医療機関から直接説明。</p> <p>②明石市医師会及び兵庫県厚生農業協同組合連合会に委託。</p> <p>③6月に前年度受診者等に助成券を送付し、翌年3月までに受診する。</p> <p>④7月以降、月例で新規加入者に受診券送付。</p> <p>⑤各医療機関で通年実施。市内107医療機関(令和2年度)で実施。その他市民センター・大型スーパーや地域のコミセン等で実施。</p> <p>⑥自己負担額・・・無料</p> <p>⑦受診者数等</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>平成30年度(実績)</td> <td>対象者数</td> <td>27,589人</td> <td>受診者数</td> <td>1,531人</td> <td>受診率</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度(実績)</td> <td>対象者数</td> <td>28,230人</td> <td>受診者数</td> <td>1,563人</td> <td>受診率</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度(見込)</td> <td>対象者数</td> <td>39,343人</td> <td>受診者数</td> <td>2,361人</td> <td>受診率</td> <td>6.0%</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※令和2年度の対象者数は令和2年3月末時点の被保険者数</p> <p>2 後期高齢者歯科健診(平成27年度より実施)</p> <p>①検査項目：問診、歯科健診、摂食・嚥下機能等のチェック、歯科保健指導を実施。</p> <p>②平成29年度以前：明石市歯科医師会より歯科医師1人、県歯科衛生士会明石支部より歯科衛生士3人出務。 平成30年度以降：明石市歯科医師会に委託し、協力医療機関における個別健診を実施。</p> <p>③広報に掲載。</p> <p>④自己負担額・・・無料</p> <p>⑤平成30年度(実績) 受診者数 16人 令和元年度(実績) 受診者数 5人 令和2年度(見込) 受診者数 50人</p>											平成30年度(実績)	対象者数	27,589人	受診者数	1,531人	受診率	5.5%	令和元年度(実績)	対象者数	28,230人	受診者数	1,563人	受診率	5.5%	令和2年度(見込)	対象者数	39,343人	受診者数	2,361人	受診率	6.0%													
平成30年度(実績)	対象者数	27,589人	受診者数	1,531人	受診率	5.5%																																						
令和元年度(実績)	対象者数	28,230人	受診者数	1,563人	受診率	5.5%																																						
令和2年度(見込)	対象者数	39,343人	受診者数	2,361人	受診率	6.0%																																						
SDGs(17の目標)																																												
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">①</td> <td style="width: 10%;">②</td> <td style="width: 10%;">③</td> <td style="width: 10%;">④</td> <td style="width: 10%;">⑤</td> <td style="width: 10%;">⑥</td> <td style="width: 10%;">⑦</td> <td style="width: 10%;">⑧</td> <td style="width: 10%;">⑨</td> <td style="width: 10%;">⑩</td> <td style="width: 10%;">⑪</td> <td style="width: 10%;">⑫</td> <td style="width: 10%;">⑬</td> <td style="width: 10%;">⑭</td> <td style="width: 10%;">⑮</td> <td style="width: 10%;">⑯</td> <td style="width: 10%;">⑰</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>											①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰			○														
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰																												
		○																																										
事業のコスト(単位：千円)		事業費	人件費(参考値)	総事業費(参考値)	財源内訳				令和2年度人員配置(人)																																			
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	その他																																	
30決算		13,125	1,890	15,015	0	0	13,123	1,892																																				
01当初予算		13,300	1,890	15,190	0	0	13,297	1,893	0.30	0.00	0.00																																	
01決算		13,542	1,890	15,432	0	0	13,541	1,891	0.00	0.00	0.00																																	
02当初予算		14,204	2,430	16,634	0	0	14,201	2,433	0.00	0.00	0.30																																	
令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容		金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額																																			
	役務費	受診券等郵送料		162		役務費	受診券等郵送料		434																																			
	委託料	健診委託料、封入封緘委託料等		13,380		委託料	健診委託料、封入封緘委託料等		13,770																																			
合計				13,542		合計				14,204																																		

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-013	事務事業名	後期高齢者健康診査事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	受診率	受診率＝受診者数／対象者数×100 ※対象者＝3月末の後期高齢者医療毎月事業状況報告書における被保険者数			5.5	5.5	6
		令和2年度	%	6			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
高齢者にとって生活習慣病を早期に発見し、医療につなげていくことは健康保持増進の面で有効であるとともに、医療費の適正化につながるため、市の広報、ホームページなどで健診の周知や歯科健診の実施方法などの検討を行い、受診率向上を図る。						



## 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b> 健康診査補助金返還金事業		新規/継続	R1休廃止	整理番号	0145302000 - 014		
		分割/統合					
<b>関連 予算 科目 目</b>	会計	後期高齢者医療事業					
	款	諸支出金					
	項	償還金及び還付加算金					
	目	償還金					
	事業	健康診査補助金返還金事業					
<b>施策分野</b>		事業の分割/ 統合の内容		事業所管課 感染対策局あかし保健所保健予防課 連絡先 (078)918-5668			
		自治/法定					
<b>個別計画</b>		根拠法令・要綱等		高齢者の医療の確保に関する法律			
		実施方法		直営	<input type="radio"/>	補助・助成	
				委託			指定管理

  

<b>事業の 目的・ 目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	兵庫県後期高齢者医療広域連合健康診査補助金（国庫補助金及び広域連合補助金）及び兵庫県後期高齢者医療制度特別対策補助金において、概算にて各年度末に各補助金を受領しているが、出納閉鎖後に交付額が最終確定することから、償還金として翌年度に返還し清算することを目的とする。				
	<b>成果指標</b>				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

  

<b>事業 内容</b>	後期高齢者健康診査事業に係る補助金【平成30年度実施分】			
	平成30年度 兵庫県後期高齢者医療広域連合健康診査補助金 国庫補助金精算分 既受領額 2,768,000円 交付確定額 3,122,000円 【返還額 0円】※差額354,000円については追加交付 広域連合補助金精算分 既受領額 10,239,000円 交付確定額 9,670,000円 【返還額 569,000円】			
	平成30年度 兵庫県後期高齢者医療広域連合歯科健康診査補助金 国庫補助金精算分 既受領額 75,000円 交付確定額 23,000円 【返還額 52,000円】 広域連合補助金精算分 既受領額 150,000円 交付確定額 47,000円 【返還額 103,000円】			
	平成30年度後期高齢者医療制度特別対策補助金 健康診査（詳細項目）対応分 既受領額 127,294円 交付確定額 261,148円 【返還額 0円】※差額133,854円については追加交付 後期高齢者人間ドック事業（長寿医療課所管）対応分 既受領額 2,597,240円 交付確定額 2,597,240円 【返還額 0円】※差額なし			
	令和元年度健康診査補助金及び特別対策補助金の返還金があれば、令和2年度補正予算で対応する。			

  

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

  

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
30決算	1,505	810	2,315	0	0	0	2,315	正規	アバ介	
01当初予算	0	810	810	0	0	0	810	再任用	その他	
01決算	724	810	1,534	0	0	0	1,534	任期付	合計	
02当初予算										

  

<b>令和元年度 決算事業費 明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>令和2年度 当初予算 事業費 明細</b>	区分(節)	内容	金額
		償還金利息及び割引料	724				
		後期高齢者健康診査補助金返還					
		合計			724		合計

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145302000-014	事務事業名	健康診査補助金返還金事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
<b>指標で表せない成果</b>							
本事業は後期高齢者健康診査事業及び後期高齢者人間ドック事業の補助金受領に伴い必然的に生じるものである。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	令和元年度限りで休廃止					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
令和元年度限りで休廃止						

## 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	保健指導一般事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145303000 - 001		
		分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	衛生費					
	項	保健衛生費					
	目	保健衛生総務費					
	事業	保健指導一般事務事業					
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野		<b>事業所管課</b>	感染対策局あかし保健所健康推進課			
	1-6 健康づくりの推進			<b>連絡先</b>	(078)918-5657		
<b>個別計画</b>	新あかし健康プラン21		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	不明
	<b>実施方法</b>	1 健康・福祉分野 1-6 健康づくりの推進		<b>根拠法令・要綱等</b>	地域保健法		
<b>実施方法</b>					直営	○	補助・助成
			委託		指定管理		

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	地域保健対策が円滑に実施できるように、課の運営に必要な事項や事業体制の整備を行う。また、庁内保健師全体の資質向上を図る。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
保健活動に係る研修会の参加人数	庁内保健師を対象に保健活動に必要なスキル習得のための研修会を開催し、その参加人数を指標とする。	令和2年度	人	50	

<b>事業内容</b>	課の運営に必要な事項や事業体制の整備を行う。				
	①課の運営に必要な一般的経費 ・各事業で共通利用する事務用品を管理することによって、経費を削減し、効率的に事務を進める。 ・保健師・精神保健福祉士・栄養士等保健指導を実施する職員の地域活動等で発生する旅費管理を行う。				
	②日々雇用者普通傷害保険加入				
	地域保健法第4条に基づき、公衆衛生の担い手として庁内すべての保健師を対象とした人材育成を行う(対象者見込み:81人)。				
<b>事業内容</b>	③保健師育成支援事業 新任期保健師に対し、保健指導技術と知識の向上を図るため、退職後保健師(トレーナー保健師)による同行訪問により、指導・助言を行う。				
	④保健師等専門能力向上のための人材育成 市民に提供する保健サービスの質の向上を図るため、保健指導の実践力の向上に資する研修を実施する。 研修会参加者 平成30年度実績 36人 令和元年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし 令和2年度見込 25人				
	⑤災害時保健活動の体制整備 災害時保健活動における課題の抽出と解決に向けた取組を行う。 研修会参加者 平成30年度実績 36人 令和元年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし 令和2年度見込 25人				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	1,627	9,180	10,807	250	0	349	10,208				
01当初予算	1,948	7,830	9,778	285	0	404	9,089	正規	1.20	パート	0.00
01決算	1,254	7,830	9,084	232	0	434	8,418	再任用	0.00	その他	1.00
02当初予算	1,931	12,830	14,761	339	0	566	13,856	任期付	0.30	合計	2.50

<b>令和元年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>令和2年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額
	報償費	研修会講師料 等	0		報償費	研修会講師料 等	110
	旅費	市内・近隣地職員旅費、研修旅費 等	297		旅費	市内・近隣地職員旅費、研修旅費 等	682
	需用費	窓口相談用等の事務用品	129		需用費	窓口相談用等の事務用品	325
	役務費	日々雇用者普通傷害保険料	458		役務費	日々雇用者普通傷害保険料	221
	委託料	トレーナー保健師派遣事業委託	356		委託料	トレーナー保健師派遣事業委託	552
	負担金補助及び交付金	研修会参加費	14		負担金補助及び交付金	研修会参加費	41
	<b>合計</b>				1,254	<b>合計</b>	

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145303000-001	事務事業名	保健指導一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	保健活動に係る研修会の参加人数	庁内保健師を対象に保健活動に必要とされるスキル習得のための研修会を開催し、その参加人数を指標とする。			72	-	50
		令和2年度	人	50			
<b>指標で表せない成果</b>							
研修参加者が学んだ知識・技術を職場内で共有することにより、職場全体の資質の向上を図り、市民の健康づくり支援の充実につなげる。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度（平成30年度）より中核市となり、従来の保健センター事業に加えて専門性の高い保健活動の円滑な実施が求められ、今後更なる資質向上が必要である。</li> <li>・保健師等専門職の資質向上により地域包括ケアの実現を図り、市民サービスの向上を目指す。また、いつ発生するかわからない災害に備え、災害時保健活動の基本及び心構えを学ぶ機会を設定し、有事の際迅速に保健活動が開始できる体制を整える。</li> </ul>						

# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	食育推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145303000 - 002	
		分割/統合				
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	衛生費				
	項	保健衛生費				
	目	保健衛生総務費				
	事業	食育推進事業				
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野		<b>事業所管課</b>	感染対策局あかし保健所健康推進課		
	1-6 健康づくりの推進			<b>連絡先</b>	(078)918-5657	
<b>個別計画</b>	食育基本方針		<b>自治/法定</b>		自治事務	開始年度
				<b>根拠法令・要綱等</b>	健康増進法第17条、食育基本法、次世代育成支援対策推進法	
			<b>実施方法</b>		直営	○
				委託		指定管理

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	食育推進のための方策を総合的に運営し、市民へ食育について啓発する。また、望ましい食生活の確立を図る。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	幼児期食育教室への参加人数	保育所、幼稚園等の子どもと、その保護者の参加者数	令和2年	人	1,900

<b>事業内容</b>	<p>「明石市食育基本方針」の重点プロジェクト「Let's My 食育」に基づき、ライフステージやライフスタイルに応じた自分のできる食育を見つけ、実践していくことを支援する。また、地域で食育を推進する明石いずみ会等の活動支援を行うことで、家庭及び地域での食育の実践と定着をめざす。</p> <p>①食に関する知識向上と健全な食生活の実践において各関係機関が一体的な取組を行うため、連携体制の強化及び食育活動の円滑な運営を図ることを目的とした会議を開催する。                  ・明石市すこやか食育推進会議 原則年に1回。食育推進の状況と地域課題、食育の企画・運営・評価、各関係機関との連携・協議。                  （平成30年度実績 13団体 令和元年度実績 16団体 令和2年度見込み 16団体）</p> <p>②明石いずみ会活動支援 各関係団体と連携を図りながら食育を市民全体に広く周知し、啓発する活動を支援する。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により事業規模を縮小する。                  ・地域(11地区)での栄養改善教室を実施するほか、各関係団体と連携し、食生活について啓発。※調理実習は中止、ヘルシーレシピ集の作成配付等の活動を行う。                  ・幼児期食育教室(食育部ひよっこ)として市内の幼稚園・保育所(園)等で朝食を食べることや早寝早起き等生活リズムを向上させるためにパネルシアターを実施。                  （平成30年度実績 35か所 3,095人 令和元年度実績 40か所 3,300人 令和2年度見込み 23か所 1,900人）</p> <p>③健康増進法に基づき、総務省が指定する地区において、国民の身体状況、栄養摂取量及び生活習慣の状況について調査し、国民の健康増進を図るための基礎資料を得るために実施。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により国の実施なし。                  ・国民健康・栄養調査 ― 身体状況調査、栄養摂取状況調査、生活習慣調査                  （平成30年度実績 1地区 18人 令和元年度 国からの指定該当地区なし 令和2年度 国の実施なし）</p>				
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
	○	○	○													○

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	756	5,670	6,426	252	0	0	6,174				
01当初予算	1,553	8,100	9,653	945	0	40	8,668	正規	0.90	アルバイト	0.00
01決算	578	8,100	8,678	0	0	0	8,678	再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算	1,549	8,640	10,189	934	0	40	9,215	任期付	0.50	合計	1.40

<b>令和元年度決算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額	<b>令和2年度当初予算事業費明細</b>	区分(節)	内容	金額		
	報償費	謝礼	0		旅費	事業説明会出席にかかる旅費	110		
	旅費	事業説明会出席にかかる旅費	32		需用費	調査用品、啓発資料の印刷製本費ほか、食育料理教室材料費	410		
	需用費	調査用品、啓発資料の印刷製本費ほか、食育料理教室材料費	113		役務費	調査案内、結果送付等の郵送料	23		
	役務費	調査案内、結果送付等の郵送料	0		委託料	身体調査及び血液検査、調査員委託料、食育出前講座委託費	923		
	委託料	食育出前講座委託費	390		備品購入費	血圧計	43		
	備品購入費	室内設備用品	43		その他	立会謝礼、会場賃借料	40		
	<b>合計</b>				578	<b>合計</b>			1,549

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145303000-002	事務事業名	食育推進事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	幼児期食育教室への参加人数	保育所、幼稚園等の子どもと、その保護者の参加者数			3,095	3,300	1,900
		令和2年	人	1,900			
<b>指標で表せない成果</b>							
<p>・子どもたちの生活の場である保育園・幼稚園において明石いずみ会が食育を啓発することにより、食の大切さを知る機会となり、食生活の見直しへ繋がっている。また、子どもが家庭で教室の話をすることにより、保護者にも食育が意識づけされ、教室を機会に何か実践しようとする動きがみられ、家庭への波及効果となる。</p>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>食は、生きていくために不可欠であり、子どもの時期から食生活に必要な知識や実践力を身につけることは、心身の健康増進と豊かな人間形成に繋がる。市が実施主体となる明石市すこやか食育推進会議を開催し、各関係機関と連携体制を構築することで、幅広いライフステージを対象とした効果的な普及啓発ができる。平成30年度からは特に重点目標として『子どもに繋がる食育』を推進するために子どもに関する課や団体との協働を進め、令和元年からは高齢者部門も食育推進会議に参加し、協働の取組みを進めている。食に関するフレイル予防について取組みを始める必要があるが、共食の場の提供が難しい状況下で、新型コロナウイルスの感染症対策を行いながら共食の大切さを伝える手法が課題である。社会経済的要因による健康格差が生じないよう、全てのライフステージにおいて市民が自ら食について考えて取り組む機会提供が必要である。</p> <p>なお、令和2年度には明石市食育基本方針を「新あかし健康プラン21(第3次)」に包含された形で改定することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、作業を一年延期することとなった。</p> <p>国民健康・栄養調査についても新型コロナウイルスの影響により実施しない。</p>						



## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145303000-003	事務事業名	新あかし健康プラン21推進事業
------	----------------	-------	-----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	新あかし健康プラン21 ホームページ閲覧数	専用ホームページの閲覧数(全数)にて、健康意識の関心度を測る。			7,202	11,834	15,000
		令和2年度	件	15,000			
	アンケートにおける新あかし健康プラン21認知度	事業参加者アンケート回答者のうち、「毎月21日はあかし健康づくりの日」を知っていましたか」を「知っていた」と回答した人の割合			36	38	40
		令和2年度	%	40			
<b>指標で表せない成果</b>							
関係団体や庁内関係各課とイベントを協働で開催する等、プランの推進について働きかけ、より効果的に健康づくりについての普及啓発を行った。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の健康増進を図る基本方針である健康日本21及び都道府県健康増進計画を勘案し、平成13年度に市町村健康増進計画として「あかし健康プラン21」を策定した。本計画は、第5次長期総合計画の個別計画(健康部門)に位置づけられており、現在は、第2次計画として「新あかし健康プラン21」を策定し、平成27年度に中間見直しを実施した。アンケート調査の結果から、数値目標を定め、新たに「概要版」、「地域編」を作成した。これらを基に各地域に出向き、市民や地域保健の各団体に働きかけ、地域の特性に応じた健康づくり活動を展開してきた。</li> <li>・2020年度(令和2年度)中に「新あかし健康プラン21」の最終評価を行い、第3次計画を策定する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、あかしSDGs推進計画(第6次長期総合計画)策定の延期に伴い、その個別計画である当計画の策定も1年延期となった。</li> <li>・新あかし健康プラン21の重点テーマの一つであるたばこについて、2020年(令和2年)4月施行の健康増進法一部改正並びに兵庫県受動喫煙防止条例の改正に伴い、受動喫煙防止の積極的な普及啓発に加え、新たに、対象施設等に対する助言や指導を実施している。</li> <li>・今後も引き続き、市民が身近に取り組める健康づくりについて啓発し、関係機関や団体、明石いずみ会、あかし健康ソムリエと協働し、事業を展開していく。</li> </ul>						



# 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		健康増進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145303000 - 004	
				分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容				
	款	衛生費		事業所管課	感染対策局あかし保健所健康推進課			
	項	保健衛生費		連絡先	(078)918-5657			
	目	予防費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	健康増進事業		根拠法令・要綱等	健康増進法第17条・25～42条・76～78条 兵庫県受動喫煙の防止等に関する条例			
施策分野		1 健康・福祉分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
		1-6 健康づくりの推進			委託		指定管理	
個別計画		新あかし健康プラン21						

事業の目的・目標	目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか)																																					
	市民の健康の増進を図るため、健康の増進に関する正しい知識の普及、情報の収集、整理、及び人材の養成や支援を実施する。市民が「自らの健康は自分で守る」という認識と自覚を高め、主体的に健康の保持・増進を図れるよう環境整備をする。また、改正健康増進法・県受動喫煙の防止等に関する条例に基づき、受動喫煙に関する知識の普及や意識の啓発を行う。																																					
	成果指標																																					
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値																																	
健康教育参加者数	生活習慣病予防に必要な正しい知識と実践方法の普及を目的とした健康教育への参加者数。	令和2年度	人	660																																		
事業内容	①健康教育 ※①～③について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して実施。 ・地域での出前講座等 市民を対象に、生活習慣病等の予防に必要な正しい知識と実践方法等の健康教室を実施する。 平成30年度実績(58回 延1,094人) 令和元年度実績(48回 延1,094人) 令和2年度見込み(12回 延110人) ・食育ボランティア&健康づくりボランティア養成講座、健康づくりボランティア自主組織活動支援 市民による主体的な健康づくりを担う人材育成をするボランティア養成講座の実施及び修了生の活動母体となるボランティア団体(あかし健康ソムリエ会、明石いずみ会)への後方支援を行う。 ○ボランティア会員新規登録人数・合計会員数 ※令和2年度はボランティア養成講座中止のため、新規登録なし。 あかし健康ソムリエ会 平成30年度実績(14人・164人) 令和元年度実績(14人・178人) 令和2年度見込み (0人・178人) 明石いずみ会 平成30年度実績(13人・100人) 令和元年度実績(14人・114人) 令和2年度見込み (0人・114人) ○養成講座、ボランティア後方支援 平成30年度実績(53回 延885人) 令和元年度実績(52回 延776人) 令和2年度見込み(39回 延550人) ※健康教育参加者数合計 平成30年度実績(延1,979人) 令和元年度実績(延1,870人) 令和2年度見込み(延660人)																																					
	②健康相談 市民を対象に、保健師・栄養士・歯科衛生士等の専門職による個別相談を実施し、自分自身で健康管理ができるように支援する。 平成30年度実績(167回 延468人) 令和元年度実績(57回 延241人) 令和2年度見込み(26回 延26人)																																					
	③たばこ対策 ・施設管理者への指導・助言・現地確認、事業所等に対する受動喫煙防止環境の整備等の相談受付 令和元年度実績107件 令和2年度見込み150件 ・事業所についての通告に関する立ち入り検査の実施 令和元年度実績3件 令和2年度見込み5件 ・市民、施設管理者に対する受動喫煙防止普及啓発 広報あかし・ホームページ・ポスター・チラシ等の活用、たばこに関する講習会の開催等 講習会 令和元年度実績(2回 63名) 令和2年度 中止 ・世界禁煙デー・禁煙週間に合わせた禁煙・受動喫煙防止普及啓発(展示・簡易肺年齢測定等) 令和元年度(2回292人) 令和2年度 中止 ・禁煙相談 市民の健康維持および喫煙環境改善のため禁煙外来の紹介等禁煙相談窓口の開設 令和2年度見込み(12人)																																					
	SDGs(17の目標)																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;">①</td> <td style="width: 12.5%;">②</td> <td style="width: 12.5%;">③</td> <td style="width: 12.5%;">④</td> <td style="width: 12.5%;">⑤</td> <td style="width: 12.5%;">⑥</td> <td style="width: 12.5%;">⑦</td> <td style="width: 12.5%;">⑧</td> <td style="width: 12.5%;">⑨</td> <td style="width: 12.5%;">⑩</td> <td style="width: 12.5%;">⑪</td> <td style="width: 12.5%;">⑫</td> <td style="width: 12.5%;">⑬</td> <td style="width: 12.5%;">⑭</td> <td style="width: 12.5%;">⑮</td> <td style="width: 12.5%;">⑯</td> <td style="width: 12.5%;">⑰</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰			○														
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰																						
		○																																				

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)								
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源									
30決算	2,595	30,520	33,115	1,071	0	116	31,928									
01当初予算	3,115	14,715	17,830	1,074	0	134	16,622	正規	2.00	アルバイト	0.00					
01決算	1,965	14,715	16,680	1,023	0	78	15,579	再任用	0.00	その他	0.00					
02当初予算	4,596	19,440	24,036	1,966	0	94	21,976	任期付	1.20	合計	3.20					

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	研修会講師料等	40		報償費	研修会講師料等	200
	旅費	訪問指導、健康ソムリエ交通費等	32		旅費	健康ソムリエ交通費等	246
	需用費	指導用パンフレット、歯科指導用物品、受動喫煙防止啓発ポスター等	633		需用費	指導用パンフレット、歯科指導用物品、受動喫煙防止啓発ポスター等	1,813
	委託料	健康教育・相談委託料	1,122		委託料	健康教育・相談委託料	1,803
	使用料及び賃借料	コピー使用料	63		使用料及び賃借料	会場使用料	67
	その他	行事参加者傷害保険料、健康ソムリエ活動用及び禁煙相談用備品	75		その他	行事参加者傷害保険料、健康ソムリエ活動用及び禁煙相談用備品	467
	合計		1,965		合計		4,596

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145303000-004	事務事業名	健康増進事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	健康教育参加者数	生活習慣病予防に必要な正しい知識と実践方法の普及を目的とした健康教育への参加者数。			1,979	1,870	660
		令和2年度	人	660			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康推進課で養成した市民ボランティアであるあかし健康ソムリエが自主グループ(あかし健康ソムリエ会)として活動を続けており、主体的に健康に関する知識や技術を市民に伝達している。当課や他団体と連携し、地域住民等への啓発を続けており、活動の場が定着してきている。</li> <li>・健康相談では、1対1で具体的に助言することで、効果的に個人の健康の保持増進を支援できている。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が健康を維持し、健康寿命を延伸するには、個人と地域全体に健康教育・健康相談を継続実施し、健康に関する正しい知識と実践方法の啓発を行う必要がある。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、紙媒体を用いた対面での啓発など従来の手法ではなく、映像媒体の作成等の新たな手法を活用した健康教育を実施していく。</li> <li>・同様に、市民自らが主体的に健康づくりに取り組む基盤となる自主組織「あかし健康ソムリエ会」「明石いずみ会」の活動サポートについても感染症拡大防止をふまえた活動形態の変更や会員が幅広く学ぶ機会の提供方法を協議の上、より広く地域で健康づくりを推進する必要がある。</li> </ul>						

# 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		精神保健事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0145303000 - 005	
				分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容				
	款	衛生費		事業所管課	感染対策局あかし保健所健康推進課			
	項	保健衛生費		連絡先	(078)918-5657			
	目	保健所費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 13 年度	
	事業	精神保健事業		根拠法令 ・要綱等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)、健康増進法第17条、自殺対策基本法			
施策分野		1 健康・福祉分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
		1-6 健康づくりの推進			委託		指定管理	
個別計画		新あかし健康プラン21、自殺対策計画、障害者計画						

事業の目的・目標	目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか)				
	○精神障害者が、住み慣れた地域で安心して暮らせる保健医療福祉の支援体制の充実と地域包括ケアの実現を図る。 ○「明石市自殺対策計画」に基づき、県や関係機関との連携及び地域の実態に応じた効果的な自殺対策事業を展開することで、「誰も自殺に追い込まれることのないやさしいまち」の実現を図る。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	明石市の自殺者	内閣府が公表している居住地における①自殺者数、②自殺死亡率(人口10万人対)	令和2年	人	前年からの減少

事業内容	①精神保健福祉の支援体制の整備 ・精神保健福祉に関する会議の開催:精神障害者の地域生活における支援体制の整備や支援ネットワークを強化する。 ・研修会の開催:精神障害者を支援する関係機関職員等への研修会を開催し、資質の向上を図る。 (平成30年度実績:2回 令和元年度実績:5回 令和2年度見込み:5回※研修会は中止) ・精神障害者家族教室の開催:精神障害者を抱える家族に対し、精神科医師や薬剤師から適切な関わり方を学ぶ機会を提供する。 (令和元年度実績:2回 令和2年度見込み:0回※家族教室は中止) ②精神保健相談 ・保健師や精神保健福祉士が、訪問・面接・電話にて、精神障害者やその家族等の相談に応じる。 (平成30年度実績(延件数):訪問 877件、面接 133件、電話 1,716件 令和元年度実績(延件数):訪問 1,109件、面接 186件、電話 2,998件 令和2年度見込み(延件数):訪問 1,200件、面接 200件、電話 2,800件) ・精神疾患やアルコール問題、こころの健康等について、精神科医・心理士等が相談に応じる。 (平成30年度実績:66件 令和元年度実績:55件 令和2年度見込み:70件) ・精神保健及び精神障害福祉に関する法律第23条等による通報対応 (平成30年度実績:12件 令和元年度実績:43件 令和2年度見込み:50件) ③通報書、医療保護入院届等、県への進達事務 ④自殺予防・メンタルヘルス対策 ・自殺予防対策推進会議の開催:自殺対策のための支援ネットワークを強化する。 ・自殺未遂者支援:消防、救急病院、警察と連携し、自殺未遂者への早期支援を行う。 (平成30年度実績:55件 令和元年度実績:41件 令和2年度見込み:50件) ・研修会の開催:自殺未遂者の再発予防等に関する情報提供や自殺未遂者を支援する対応者への研修を実施し、資質向上を図る。 市民やボランティア団体等を対象に、自殺予防ゲートキーパー研修会を行う。 ・普及啓発:若年層や中高年層の自殺予防対策を図るため、学校関係者やハローワーク等関係機関にチラシ等を作成して配付する。 (平成30年度実績:18,000部 令和元年度実績:20,050部 令和2年度見込み:20,200部)				
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	2,613	75,906	78,519	2,891	0	0	75,628				
01当初予算	9,860	73,630	83,490	1,244	0	0	82,246	正規	6.20	アルバイト	0.00
01決算	2,273	73,630	75,903	2,588	0	0	73,315	再任用	1.00	その他	0.90
02当初予算	2,950	69,120	72,070	1,299	0	0	70,771	任期付	4.90	合計	13.00

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	自殺予防対策推進会議、各種研修会講師料等	296		報償費	自殺予防対策推進会議、各種研修会講師料等	853
旅費	講師旅費、技術研修、訪問指導旅費等	207	旅費	講師旅費、技術研修、訪問指導旅費等	358		
需用費	精神保健リーフレット、チラシ、自殺未遂者支援カード印刷製本費	677	需用費	精神保健リーフレット、チラシ、自殺未遂者支援カード等	744		
委託料	こころのケア相談委託料	572	委託料	こころのケア相談委託料	758		
負担金補助及び交付金	精神保健に関する技術研修参加費	47	負担金補助及び交付金	精神保健に関する技術研修参加費	94		
その他	備品購入、書類送付等郵便料等	474	その他	書類送付等郵便料、タクシー借上料等	143		
合計			2,273	合計			2,950

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145303000-005	事務事業名	精神保健事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	明石市の自殺者	内閣府が公表している居住地における①自殺者数、②自殺死亡率(人口10万人対)			①54 ②17.93	①54 ②17.81	減少
		令和2年	人	前年からの減少			
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺予防強化月間を中心にリーフレットの配布、また市民図書館や保健所等に啓発ブースを設けることで、自殺予防の意識づけを図ることができている。</li> <li>・地域で多くの人に健康教育を実施することで、精神障害者への理解や、自らの健康づくりに努める人の増加につながっている。</li> <li>・自殺率の高い年代などを中心に、自殺予防ゲートキーパーなどの人材を養成し、自殺のサインに気づける人材を増やしている。</li> <li>・早期からの相談と支援、関係機関とのネットワーク構築により、精神障害者の地域での安心した生活につながっている。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年4月1日の自殺対策基本法改正により、都道府県や市町村が自殺対策計画を策定し、地域レベルでより実践的な取り組みを推進していくよう求められている。本市においては平成30年度、明石市自殺対策計画を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのないやさしいまち」の実現に向け、全市的な推進体制のもと、関係機関と連携して取り組みを推進する。</li> <li>・こころのケア相談は市民からのニーズも高く、他機関からの紹介による相談希望者も増加している。平成30年度からは精神科医の相談、依存症の相談も開始しており、本年度も幅広く市民の心の悩みの相談に対応する。</li> <li>・相談支援事業所従事者等、精神障害者を支援する関係機関職員や自殺対策関係部署の職員への研修を行い、精神障害者への理解や具体的な支援方法を習得する等スキルアップを図り、支援者支援の強化を行う。</li> <li>・自殺対策強化市町補助事業補助金を活用して、自殺予防ゲートキーパーなどの人材を育成し、今後も他機関との連携のもとに継続して、効果的な自殺予防対策を展開していく。</li> <li>・精神保健福祉の関係機関と連携し、専門的かつ市民に密着した支援体制や必要な医療が途切れることのない体制づくりを行う。</li> </ul>						

# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	難病保健事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145303000 - 006		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	衛生費					
	<b>項</b>	保健衛生費					
	<b>目</b>	保健所費					
	<b>事業</b>	難病保健事業					
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野	<b>事業所管課</b>	感染対策局あかし保健所健康推進課				
	1-3 障害者福祉の充実		<b>連絡先</b>	078-918-5657			
<b>個別計画</b>	障害者計画	<b>自治/法定</b>	法定受託事務	<b>開始年度</b>	平成 30 年度		
		<b>根拠法令・要綱等</b>	児童福祉法 難病の患者に対する医療等に関する法律 難病特別対策推進事業実施要綱				
<b>実施方法</b>		直営	○	<b>補助・助成</b>		<b>その他</b>	
		委託		<b>指定管理</b>			

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	小児慢性特定疾病児童等の医療費を一部負担することにより、患児等の健全育成及び福祉の向上を図るとともに、難病患者に対する医療費助成の申請等の受理及び県への進達事務を行う。 また、患者の在宅療養生活の支援体制を強化を図るとともに、災害時に適切な支援ができるよう体制を整備する。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>
	個別災害対応マニュアル作成件数	人工呼吸器装着患者(児)に対して個別災害対応マニュアルを作成した割合を指標とする。	令和2年度	%	100

<b>事業内容</b>	1)小児慢性特定疾病医療費助成 小児期における特定の慢性疾患は長期間にわたり医療費が高額となることから、ご家族の負担軽減のために、児童福祉法に基づき医療費の一部又は全部を公費によって助成。申請により受給資格を審査し、認定されれば「受給者証」を交付し、当該疾病に関する保険診療費の患者自己負担額のうち、一部負担金を除いた額を助成する。 ・助成対象疾病数 762疾病(令和元年7月1日時点) ・申請者要件 厚生労働省が定める疾病と診断され、住民票が明石市内にある18歳未満の児童等(18歳到達時に引き続き治療が必要だと認められる場合は、20歳に達する日の前日まで) ・受給者証所持者数 平成30年度末:201人 令和元年度末:195人 令和2年度末見込み:205人				
	2)特定医療費(指定難病)受給者証の交付申請等の受理及び進達 難病の患者に対する医療等に関する法律に基づき、法が定める疾病に罹患する患者からの新規、更新、変更等の申請受理及び県への進達事務等を行う。 ・受給者証所持者数 平成30年度末:2,202人 令和元年度末:2,349人 令和2年度末見込み:2,670人				
	3)難病療養患者、小児慢性特定疾病児童への療養支援※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、状況に応じて実施。 ①保健・医療・福祉等関係機関と連携に努めながら、個々のニーズを把握し、支援計画を立て、定期的に相談、訪問等行い支援を行う。 ・訪問事業(実人数) 平成30年度:難病37人、小慢9人 令和元年度:難病48人、小慢9人 令和2年度見込み:難病50人、小慢10人 ・患者交流会 平成30年度:1回 27人 令和元年度:1回 37人 令和2年度見込み:1回 40人 ・個別災害対応マニュアル作成件数(実件数) 平成30年度:難病5件、小慢3件 令和元年度:難病:3件、小慢:6件 令和2年度見込み:難病5件、小慢7件				
	②市内の各関係機関とのネットワーク支援体制の強化を図る。 ・従事者向け研修会、事例検討会 平成30年度:3回 101人 令和元年度:3回 87人 令和2年度見込み:3回 90人 ・難病対策地域連絡会の開催 平成30年度:1回 21人 令和元年度:1回 22人 令和2年度見込み:1回 25人				
	4)介護職員の育成支援 医療処置(痰の吸引等)のできる介護職員の育成、指導訪問看護師を支援するための研修費の助成を行う。				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
30決算	65,313	44,415	109,728	36,532	0	0	73,196						
01当初予算	74,775	40,995	115,770	37,612	0	0	78,158	正規	4.90	アルバイト	0.00		
01決算	67,921	40,995	108,916	37,488	0	0	71,428	再任用	0.00	その他	1.10		
02当初予算	69,654	43,030	112,684	34,958	0	0	77,726	任期付	0.30	合計	6.30		

<b>令和元年度決算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>	<b>令和2年度当初予算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>
	報酬	小児慢性特定疾病審査会委員報酬	498		報酬	小児慢性特定疾病審査会委員報酬	598
	役務費	書類送付等郵便料、診療報酬審査支払手数料	663		役務費	書類送付等郵便料、診療報酬審査支払手数料	475
	委託料	難病医療相談会、窓口相談	540		委託料	難病医療相談会、窓口相談	641
	使用料及び賃借料	小児慢性特定疾病システム賃借料、相談会会場使用料等	913		使用料及び賃借料	小児慢性特定疾病システム賃借料、相談会会場使用料等	894
	扶助費	小児慢性特定疾病医療費	64,810		扶助費	小児慢性特定疾病医療費	65,700
	その他	研修会等謝礼、用紙等消耗品等	497		その他	研修会等謝礼、用紙等消耗品、受給者証作成、書籍購入等	1,346
	<b>合計</b>		67,921		<b>合計</b>		69,654

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145303000-006	事務事業名	難病保健事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	個別災害対応マニュアル作成件数	人工呼吸器装着患者(児)に対して個別災害対応マニュアルを作成した割合を指標とする。			100	90	100
		令和2年度	%	100			
<b>指標で表せない成果</b>							
<p>児童福祉法及び難病の患者に対する医療等に関する法律に基づき医療費助成を行うことで、患者及びその家族の経済的負担を軽減している。また、保健師による療養相談を実施することで、日常生活および療養生活上の悩み等を抱える患者やその家族の療養生活の支援を行っている。</p> <p>事務移譲後の当市の取り組みとしては、医療受給者証の更新時期における窓口混雑緩和並びに来所することが困難な方にとっての負担軽減を図り、郵送での申請を可としたところ、市民より「郵送で申請できるようになり助かった」という声が上がっている。</p>							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>【難病保健指導事業】 難病特別対策推進事業実施要綱に基づき、難病患者の療養生活を支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度開催した難病対策地域連絡会では「神経難病患者の災害対策について」をテーマに協議。その中であがった課題について、各関係機関と連携しながら課題解決に向けて取り組み、更なるネットワーク強化を図る。また、上記の課題を踏まえながら個別災害対応マニュアルを元に、シミュレーション訓練を実施し、難病患者(特に人工呼吸器装着患者)等の災害時の支援体制について引き続き検討をしていく。</li> <li>・患者家族交流会の対象を、小児慢性特定疾患児とその家族にも焦点を当て、患者家族同士が情報共有できる機会を設け、横の繋がりを支援する。</li> <li>・家族の介護負担軽減のため、レスパイト入院の受け入れ可能な病院を開拓、また研修費の助成を行い医療行為ができる介護職員の育成を支援する。</li> </ul> <p>【医療費助成】</p> <p>小児慢性特定疾病</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市税の適正な運用のために福祉医療等他制度と重複して受給している者への案内を徹底する。</li> </ul> <p>指定難病</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請受付事務であり、県への進達を行う。</li> <li>・毎年夏に一斉更新申請の受理を行う必要があるため、窓口体制の検討等により混雑緩和を図る。</li> <li>・市民や関係機関へのわかりやすい説明を実現するため、市民向け資料の編集や窓口での対応等の改善を図る。</li> <li>・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、有効期限が1年延長となり毎年6月から8月にかけて一斉に行われていた受給者証の更新手続きはなくなったが、申請者の利便性向上、また今後起こり得る感染症拡大防止のためにも、次回更新時期の窓口混雑の緩和に向け、郵送での申請強化等に取り組む必要がある。</li> </ul>						

# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	ひきこもり相談支援事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145304000 - 001	
		<b>分割/統合</b>				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>			
	<b>款</b>	衛生費	<b>事業所管課</b>	感染対策局あかし保健所ひきこもり相談支援課		
	<b>項</b>	保健衛生費	<b>連絡先</b>	(078)918-5669		
	<b>目</b>	保健所費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	令和元年度
	<b>事業</b>	ひきこもり相談支援事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	生活困窮者自立支援法 生活困窮者自立相談支援事業等実施要綱 ひきこもり支援推進事業実施要領		
<b>施策分野</b>	1 健康・福祉分野 1-1 地域福祉の推進	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
<b>個別計画</b>			委託		指定管理	

**事業の目的**  
**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 ひきこもりが長期化し、ひきこもり当事者もその親も高齢化して働けなくなり困窮する「8050問題」をはじめとして、15歳以上のすべてのひきこもり状態にある方とその家族に対し、社会とのつながりを回復し、安心して生活できるように支援する。

成果指標					
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値	
関係機関のネットワーク支援体制の構築	ケース会議・打ち合わせ等で、関係機関とケース支援の方向性の確認、役割分担を行った件数	令和2年度	回	50	
地域住民にひきこもりの知識の向上	地域の団体に出前講座を実施した回数	令和2年度	回	20	

**事業内容**

- ひきこもり専門相談の実施**  
 ひきこもりに関する相談について、精神保健福祉士・保健師・臨床心理士・弁護士等の専門職が多角的に課題を整理し、教育・労働・保健・医療・福祉等の様々な分野と連携しながら、個性性を重視した丁寧な支援を実施する。  
 ・ひきこもり専門相談ダイヤル、ひきこもりWeb相談の設置  
 ・専門職による来所面談・訪問による継続相談の実施  
 （令和元年度766件 令和2年度850件予定）
- 家族支援の強化**  
 ひきこもり当事者の家族が、ひきこもりに関する知識を深め、当事者への関わり方を学ぶ機会を提供する。  
 ・家族教室の実施（令和2年度 2回開催予定）  
 ・家族向けパンフレットの作成
- 関係機関のネットワーク支援体制の整備**  
 ・関係機関ネットワーク会議の開催（令和2年度1回開催予定）  
 ・従事者向け研修会、事例検討会の実施（令和2年度研修会1回・事例検討会4回開催予定）  
 ・ケース支援会議（打ち合わせ含む）の実施（令和元年度27回開催、令和2年度50回開催予定）
- 地域づくり支援**  
 地域のひきこもりへの理解を深め、ひきこもり状態の人でも安心して暮らせる地域づくりを行う。  
 ・地域団体向け出前講座・民生児童委員への研修の実施  
 （令和元年度1回開催、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施しない予定）

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
○		○					○									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
30決算	0	0	0	0	0	0	0	正規		7.00	7.00	1.00
01当初予算	0	34,080	34,080	0	0	0	34,080	再任用		0.00	0.00	0.00
01決算	360	34,080	34,440	0	0	0	34,440	任期付		0.00	0.00	0.00
02当初予算	4,152	58,200	62,352	1,701	0	0	60,651	合計		8.00	8.00	0.00

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	事例検討会助言	11		報償費	ネットワーク会議委員報酬、従事者研修会講師、事例検討会助言等	800
旅費	職員研修旅費、近接旅費、先進地への視察等旅費	159	旅費	研修講師旅費、職員研修、先進地への視察等旅費	250		
需用費	窓口パンフレットの作成、事務用品、会議用お茶等	150	委託料	専門職による訪問相談、面接相談等	2,000		
役務費	損害保険料	24	需用費	家族向け・窓口パンフレットの作成、事務用品、会議用お茶等	669		
負担金補助及び交付金	研修参加負担金	16	その他	委託用傷害保険、従事者研修等会場使用料、研修参加負担金等	433		
<b>合計</b>			360	<b>合計</b>			4,152

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145304000-001	事務事業名	ひきこもり相談支援事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	関係機関のネットワーク支援体制の構築	ケース会議・打ち合わせ等で、関係機関とケース支援の方向性の確認、役割分担を行った件数				27	50
		令和2年度	回	50			
	地域住民にひきこもりの知識の向上	地域の団体に出前講座を実施した回数				1	0
		令和2年度	回	20			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>2019年7月にひきこもり相談支援課が新設されて以降、これまでひきこもりに悩む当事者や家族への相談支援を中心に、関係機関との連携強化、ひきこもりについての理解を深めるための情報発信など、様々な取り組みを行ってきた。</p> <p>今後はさらに安定的かつ重層的な支援を実施するため、関係機関ネットワーク会議を設置するなど、支援体制の整備を進めていくとともに、外出のきっかけになるなど社会参加の第一歩となる居場所づくりの検討を行う。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大を予防する「新しい生活様式」への移行・実践を図る観点から、ウェブ会議システムを利用したオンライン専門相談などの導入・活用を進める。</p>						



# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	食品衛生関係事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145305000 - 001		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	衛生費		<b>事業所管課</b>	感染対策局あかし保健所生活衛生課		
	<b>項</b>	保健衛生費		<b>連絡先</b>	(078)918-5426		
	<b>目</b>	保健所費		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 30 年度
	<b>事業</b>	食品衛生関係事業		<b>根拠法令・要綱等</b>	食品衛生法		
<b>施策分野</b>		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他	
<b>個別計画</b>	明石市食品衛生監視指導計画		委託		指定管理		

**目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）**  
 食品衛生関係施設（飲食店、給食施設等）の許認可事務及び監視指導並びに食品検査を行うことにより、違反食品等の排除、食品の安全確保、食中毒等食品による危害の発生防止を図る。  
 また、営業者及び市民への食品衛生知識の普及啓発により、健康被害を未然に防止する。

<b>成果指標</b>				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
監視率 (許可を要する施設)	監視実施延べ施設数 ÷ 目標監視延べ施設数	令和2年度	%	100

**事業内容**

- 食品関係営業施設の営業許可事務(新規・継続)  
 <平成30年度実績> 新規:411件、継続:417件 <令和元年度実績> 新規:392件、継続:387件  
 <令和2年度見込み> 新規:400件、継続:590件
- 食品等事業者の監視指導  
 ↓定期監視+苦情対応等の緊急立入監視  
 ○営業許可を要する食品関係施設(飲食店等) <平成30年度実績> 監視率:130.9% <令和元年度実績> 監視率:129.8%  
 <令和2年度見込み> 監視率:100.0%  
 ○営業許可を要しない食品関係施設(給食施設等) <平成30年度実績> 監視率:101.1% <令和元年度実績> 監視率:98.2%  
 <令和2年度見込み> 監視率:100.0%
- 食品収去検査  
 市内で流通する各種食品を製造所や販売店などから収去し、食品毎に定められた規格(細菌数、使用可能添加物等)に合致しているか確認する。(検査は主に保健所内の検査室で行うが、一部県などへの外部委託により行うものもある。)  
 <平成30年度実績> [保健所実施分] 42検体・152項目 [外部委託分] 23検体・1,752項目(内、残留農薬が8検体・1,728項目)  
 <令和元年度実績> [保健所実施分] 39検体・128項目 [外部委託分] 21検体・1,867項目(内、残留農薬が8検体・1,848項目)  
 <令和2年度見込み> [保健所実施分] 39検体・129項目 [外部委託分] 10検体・1,875項目(内、残留農薬が8検体・1,848項目)
- 食中毒調査・予防啓発  
 ○食中毒事件 <平成30年度実績> 発生件数:2件、患者数:198名 <令和元年度実績> 発生件数:2件、患者数:16名  
 ○研修会・講習会 <平成30年度実績> 実施:27回・参加者:1,531名 <令和元年度実績> 実施:22回・参加者:1,235名  
 <令和2年度見込み> 実施:10回・参加者:800名  
 ○その他・・・街頭キャンペーン、イベントでのブース出展 等
- 食品に関する相談対応(有症苦情、異物混入、異味・異臭 等)
- 食品に関するリスクコミュニケーション事業(食の安全などに関する講演会、市民・事業者・行政関係者間での意見・情報交換会 等)

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算	3,146	37,468	40,614	0	0	11,465	29,149	正規	7.35	7人 <sup>1</sup> 1人 <sup>2</sup>	0.00				
01当初予算	4,433	53,668	58,101	0	0	9,278	48,823					再任用	0.00	その他	0.00
01決算	2,819	53,668	56,487	0	0	11,069	45,418					任期付	0.00	合計	7.35
02当初予算	5,549	59,535	65,084	0	0	10,759	54,325								

区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
旅費	各種担当者会議・業務研修会等への参加	459	令和2年度当初予算事業費明細	報償費	リスクコミュニケーション事業講師謝礼	30
需用費	書籍・監視用衛生用品・事務用品等の購入、許可証等の印刷	764		旅費	各種担当者会議・業務研修会等への参加	700
役務費	衛生検査手数料、計測機器校正手数料、白衣等クリーニング代	405		需用費	書籍・監視用衛生用品・事務用品等の購入、許可証等の印刷	1,190
委託料	食品衛生協会業務委託、食品収去検査委託	1,168		役務費	衛生検査手数料、計測機器校正手数料、白衣等クリーニング代	1,800
負担金補助及び交付金	加入協議会負担金	23		委託料	食品衛生協会業務委託、食品収去検査委託	1,300
				負担金補助及び交付金	加入協議会負担金	529
<b>合計</b>		<b>2,819</b>		<b>合計</b>		<b>5,549</b>

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145305000-001	事務事業名	食品衛生関係事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	監視率 (許可を要する施設)	監視実施延べ施設数÷目標監視延べ施設数			130.9	129.8	100.0
		令和2年度	%	100			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>&lt;現状の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監視員の人員確保及び人材育成。</li> <li>・各業務におけるマニュアル、事務処理要領等の整備。</li> </ul> <p>&lt;今後の方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の安全性の確保を図るため、施設への監視指導を計画的に行う。</li> <li>・食品衛生法の改正に伴うHACCPの制度化をはじめとした新しい事業に取り組む。</li> <li>・計画的かつ体系的な研修の受講などによる人材育成、適正に業務が遂行できる体制の整備などに取り組む。</li> </ul>						

# 令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	生活衛生関係事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0145305000 - 002		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	衛生費	事業所管課	感染対策局あかし保健所生活衛生課			
	項	保健衛生費	連絡先	(078)918-5425			
	目	保健所費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 30 年度	
	事業	生活衛生関係事業	根拠法令・要綱等	旅館業法、公衆浴場法、興行場法、理容師法、美容師法、クリーニング業法等			
施策分野			実施方法	直営	○	補助・助成	その他
				委託		指定管理	
個別計画							

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	生活衛生関係営業施設（理・美容所、クリーニング所、旅館、公衆浴場、興行場等）に対し、公衆衛生の向上及び営業者への生活衛生の知識普及を目的とし、監視指導を実施する。 また、営業者及び市民へ生活衛生関連情報を提供することにより、健康被害を未然に防止する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
監視率 （営業六法施設）	監視実施延べ施設数 ÷ 目標監視延べ施設数	令和2年度	%	100	

事業内容	<b>■生活衛生関係営業施設の営業許可等事務</b> ○旅館、公衆浴場、興行場＝営業許可 <平成30年度実績> 旅館:0件、公衆浴場:0件、興行場:0件 <令和元年度実績> 旅館:3件、公衆浴場:0件、興行場:0件 <令和2年度見込み> 旅館:5件、公衆浴場:0件、興行場:0件 ○理容所、美容所、クリーニング所＝届出に対する検査確認 <平成30年度実績> 理容所:5件、美容所:28件、クリーニング所:7件 <令和元年度実績> 理容所:3件、美容所:34件、クリーニング所:15件 <令和2年度見込み> 理容所:5件、美容所:35件、クリーニング所:5件 ○その他生活衛生関係施設、墓地等＝許可、届出 <平成30年度実績> 温泉利用施設:0件、動物飼養(収容)施設:3件(以上、許可) 住宅宿泊事業:0件、コインオペレーション クリーニング営業施設:3件、遊泳用プール:0件、特定建築物:3件(以上、届出) <令和元年度実績> 温泉利用施設:1件、動物飼養(収容)施設:0件、火葬場及び墓地:1件(以上、許可) 住宅宿泊事業:0件、コインオペレーション クリーニング営業施設:5件、遊泳用プール:0件、特定建築物:0件(以上、届出) <令和2年度見込み> 温泉利用施設:0件、動物飼養(収容)施設:0件、火葬場及び墓地:2件(以上、許可) 住宅宿泊事業:0件、コインオペレーション クリーニング営業施設:5件、遊泳用プール:0件、特定建築物:0件(以上、届出)				
	<b>■生活衛生関係営業施設の監視指導</b> <平成30年度実績> 旅館:117%、公衆浴場:103%、興行場:100%、理容所:105%、美容所:100%、クリーニング所:104%、 特定建築物:21%、遊泳用プール:100% <令和元年度実績> 旅館:124%、公衆浴場:110%、興行場:120%、理容所:106%、美容所:100%、クリーニング所:150%、 特定建築物:20%、遊泳用プール:100% <令和2年度見込み> 旅館:100%、公衆浴場:100%、興行場:100%、理容所:100%、美容所:100%、クリーニング所:100%、 特定建築物:100%、遊泳用プール:100%、火葬場:100%				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○			○											

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	1,006	34,668	35,674	178	0	707	34,789	正規	4.35	ｱｶｼ	0.00
01当初予算	1,825	34,668	36,493	177	0	804	35,512	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	1,161	34,668	35,829	104	0	888	34,837	任期付	0.00	合計	4.35
02当初予算	1,818	35,235	37,053	103	0	864	36,086				

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	各種担当者会議・業務研修会等への参加	434		旅費	各種担当者会議・業務研修会等への参加	800
	需用費	書籍・事務用品等の購入、許可証等の印刷	274		需用費	書籍・事務用品等の購入、許可証等の印刷	337
	役務費	計測機器の校正手数料	240		役務費	計測機器の校正手数料	380
	負担金補助及び交付金	加入協議会負担金、講習会・研修会参加費	213		負担金補助及び交付金	加入協議会負担金、講習会・研修会参加費	301
	合計		1,161		合計		1,818

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145305000-002	事務事業名	生活衛生関係事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	監視率 (営業六法施設)	監視実施延べ施設数÷目標監視延べ施設数			103	111	100
		令和2年度	%	100			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>&lt;現状の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監視員の人材育成。</li> <li>・各業務におけるマニュアル、事務処理要領等の整備。</li> </ul> <p>&lt;今後の方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活衛生関係営業施設の衛生確保のため、施設への監視指導を計画的に行う。</li> <li>・計画的かつ体系的な研修の受講などによる人材育成、適正に業務が遂行できる体制の整備などに取り組む。</li> </ul>						

# 令和2年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	衛生検査関係事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0145305000 - 003		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	<b>款</b>	衛生費					
	<b>項</b>	保健衛生費					
	<b>目</b>	保健所費					
	<b>事業</b>	衛生検査関係事業					
<b>施策分野</b>							
<b>個別計画</b>							
		<b>事業所管課</b>	感染対策局あかし保健所生活衛生課				
		<b>連絡先</b>	(078)918-5427				
		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 30 年度		
		<b>根拠法令・要綱等</b>	・食品衛生法 ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律				
		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他	
			委託		指定管理		

<b>事業の目的・目標</b>	<b>目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）</b>				
	市内に流通している不良食品の排除を図る。 感染症や食中毒の衛生検査を迅速、的確に行い、市民における被害拡大を防止する。 市民からの依頼検査を行うことで、公衆衛生の向上を図る。				
	<b>成果指標</b>				
	<b>指標名</b>	<b>考え方・定義・式</b>	<b>目標年次</b>	<b>単位</b>	<b>目標値</b>

<b>事業内容</b>	<b>■食品衛生法、感染症法に基づく検査</b>  【依頼検査】 ○有料… 検便検査（食品従事者等）、食品検査（食品関係業者） ○無料（一部有料）… HIV、梅毒検査 <平成30年度実績> 検便検査:235検体、食品検査:4検体、HIV検査:210検体、梅毒検査:197検体 <令和元年度実績> 検便検査:252検体、食品検査:2検体、HIV検査:201検体、梅毒検査:186検体 <令和2年度見込み> 検便検査:240検体、食品検査:4検体、HIV検査:140検体、梅毒検査:130検体  【行政検査】食品収去検査、食中毒検査、感染症検査 <平成30年度実績> [食品収去検査] 42検体・152項目 [食中毒検査] 糞便検査:25検体・374項目、食品検査:8検体・136項目、ふきとり検査:20検体、340項目 [感染症検査] 糞便検査:163検体・163項目  <令和元年度実績> [食品収去検査] 39検体・128項目 [食中毒検査] 糞便検査:18検体・212項目、食品検査:0検体・0項目、ふきとり検査:16検体、272項目 [感染症検査] 糞便検査:35検体・35項目  <令和2年度> =見込み=[食品収去検査] 39検体・129項目 =状況=[食中毒事件] 糞便検査:3検体・3項目、食品検査:0検体・0項目、ふきとり検査:0検体、0項目 (7/15時点)[感染症検査] 糞便検査:9検体・9項目、新型コロナウイルス検査:1026検体				
	SDGs(17の目標)				
	①	②	③	④	⑤
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		○														

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	4,121	38,764	42,885	0	0	324	42,561	正規	4.30	7/11/1	0.00
01当初予算	6,876	44,064	50,940	536	0	685	49,719	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	5,494	44,064	49,558	283	0	357	48,918	任期付	0.00	合計	4.30
02当初予算	6,851	34,830	41,681	312	0	537	40,832				

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	各種担当者会議・業務研修会等への参加	171		旅費	各種担当者会議・業務研修会等への参加	155
需用費	書籍・検査関係消耗品・試薬類等の購入、機器修繕費用	3,260	需用費	書籍・検査関係消耗品・試薬類等の購入、機器修繕費用	3,208		
役務費	計測機器の校正手数料、白衣等のクリーニング代	359	役務費	計測機器の校正手数料、白衣等のクリーニング代	402		
委託料	廃棄物処理、外部精度管理調査、検査機器保守点検	1,399	委託料	廃棄物処理、外部精度管理調査、検査機器保守点検	2,028		
備品購入費	検査機器の購入	241	備品購入費	検査機器の購入	990		
その他	コピー使用料、加入協議会負担金、講習会参加費	64	その他	コピー使用料、加入協議会負担金、講習会参加費	68		
<b>合計</b>			<b>5,494</b>	<b>合計</b>			<b>6,851</b>

## 令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	0145305000-003	事務事業名	衛生検査関係事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>&lt;現状の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正確かつ迅速な検査を実施するための体制整備。</li> </ul> <p>&lt;今後の方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な検査機器、試薬等の購入を適正に進めるなど、環境の整備を図るとともに、積極的な研修等への参加をはじめ、最近の知識・技術の習得に努め、検査技能の向上及び検査員間の平準化に取り組む。</li> </ul>						